



大賞部門

一般部門

第37回
令和4年度

ふるさと
郷土賞





手づくり郷土賞

令和4年度
第37回

手づくり郷土賞について	4
受賞記念発表会	6
講評	
全体講評	10
選定委員講評	11



大賞部門

1 ◆ 知床のガードレール雪かきプラス!~真冬の避難・命を守るまちづくり~ 北海道斜里町	14
--	----



一般部門

1 ◆ “美しい村”鶴居のサイクルツーリズム~牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ~ 北海道鶴居村	16
2 ◆ SHIROFES. 青森県弘前市	18
3 ◆ 環境保全活動「防災思想の普及と溪流環境の保全」 山梨県北杜市	20
4 ◆ 歴史的文化遺産を活かした地域振興とまちづくり~住民主体のまちづくり~ 長野県長野市	22
5 ◆ 新潟の水辺・鳥屋野潟の持続可能な郷土づくり 新潟県新潟市	24
6 ◆ 地域のお宝「くびき野レールパーク」~よみがえった頸城鉄道~ 新潟県上越市	26
7 ◆ 地域と連携・協力した安全で豊かな都市山麓づくり 岐阜県多治見市	28
8 ◆ 松毛川「千年の森」再生プロジェクト 静岡県三島市・沼津市	30
9 ◆ 小倉山森林再生プロジェクト~地域の人の輪によるアカマツの再生~ 京都府京都市	32
10 ◆ ~椋の木の下に集落内外の人が集う野菜市~天引むくむく市と活性化の歩み 京都府南丹市	34
11 ◆ 放置された森と森林資源を利活用して「里山の森づくり」 大阪府柏原市	36
12 ◆ 最古の四国遍路道を活かす~歴史的遺産の魅力を発信して地域活性化~ 徳島県阿南市	38
13 ◆ 街道遺産発見の旅~歩く唐津街道の旅人と標識設置活動 佐賀県唐津市~福岡県北九州市	40
14 ◆ 菊池川をフィールドとした子供たちとの体験学習会~見なれた自然から驚きと感動を~ 熊本県山鹿市	42
15 ◆ 山国川の美しい景観と歴史文化を守り伝える~地域が連携した観光ガイド~ 大分県中津市	44
16 ◆ 市民協働による西海岸・里浜の保全活用~時空を超え未来につなぐ、古里の記憶~ 沖縄県浦添市	46

資料編

年度別テーマ一覧	48
選定案件一覧	50

第37回 手づくり郷土賞

ふるさと

大賞部門

一般部門



10 ~棕の木の下に集落内外の人が集う野菜市~
天引むくむく市と活性化の歩み



9 小倉山森林再生プロジェクト
~地域の人々の輪によるアカマツの再生~



7 地域と連携・協力した安全で豊かな都市山麓づくり



5 新潟の水辺・鳥屋野潟の持続可能な郷土づくり



15 山国川の美しい景観と歴史文化を守り伝える
~地域が連携した観光ガイド~



13 街道遺産発見の旅
~歩く唐津街道の旅人と標識設置活動



16 市民協働による西海岸・里浜の保全活用
~時空を超え未来につなぐ、古里の記憶~



14 菊池川をフィールドとした子供たちの体験学習会
~見なれた自然から驚きと感動を~



12 最古の四国遍路道を活かす
~歴史的遺産の魅力を発信して地域活性化~



11 放置された森と森林資源を活用して「里山の森づくり」



8 松毛川「千年の森」再生プロジェクト



3 環境保全活動「防災思想の普及と溪流環境の保全」



1 知床のガードレール雪かきプラス!
~真冬の避難・命を守るまちづくり~



1 “美しい村”鶴居のサイクルツーリズム
~牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ~



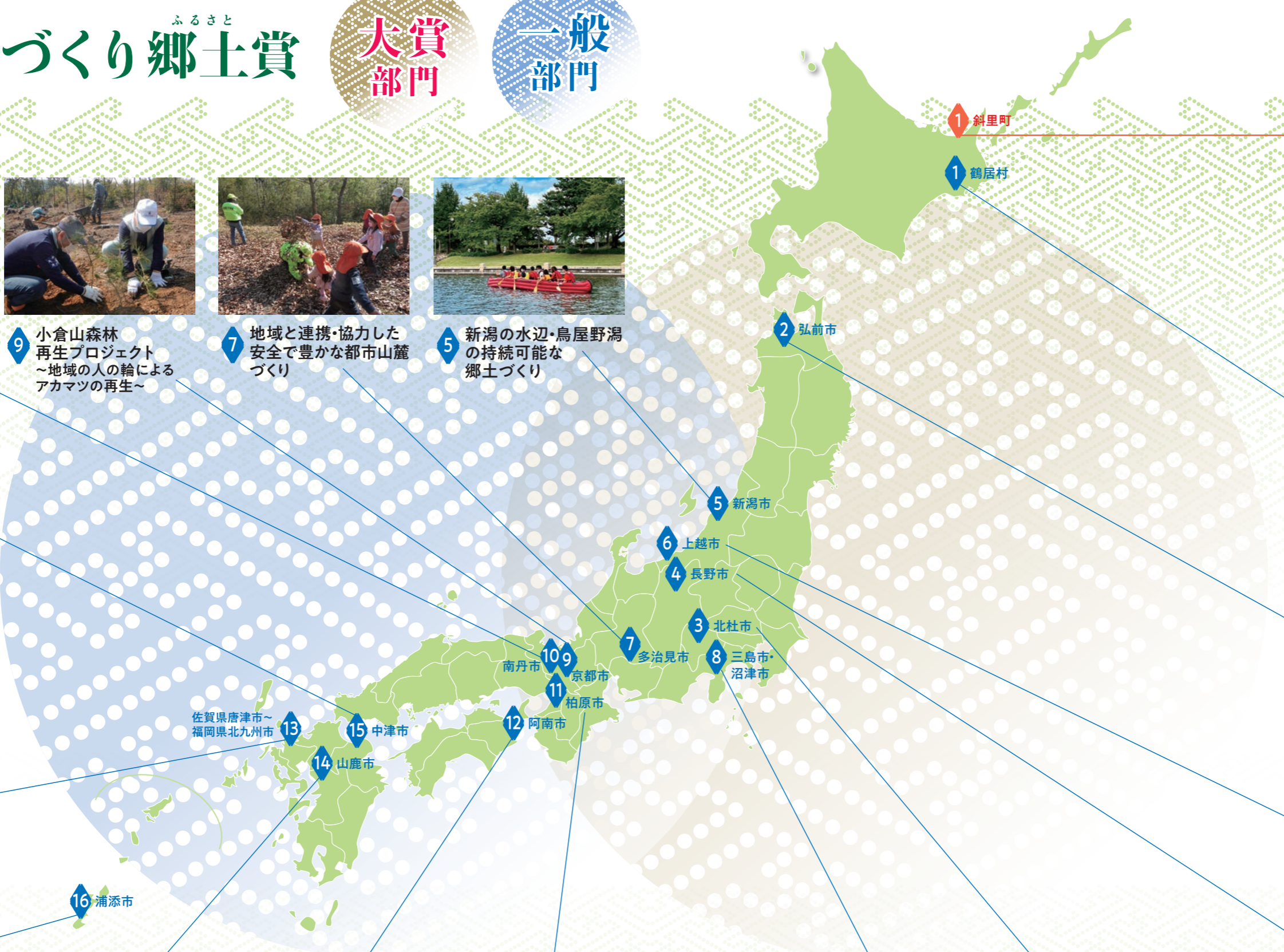
2 SHIROFES.



6 地域のお宝「くびき野レールパーク」
~よみがえった頸城鉄道~



4 歴史的文化遗产を活かした地域振興とまちづくり
~住民主体のまちづくり~



ふるさと 手づくり郷土賞について

「手づくり郷土賞」の背景 および目的

日本の各地で、地域特有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として見直し積極的に活用した、魅力ある地域づくりの事例が数多く生まれてきています。

「手づくり郷土賞」は、このような地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、令和4年度で37回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

令和4年度は、地域の魅力や個性を生み出している、社会資本*及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を表彰する「手づくり郷土賞(一般部門)」、これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、なお一層の活動の充実が行われるなど地域づくりに貢献しているものを表彰する「手づくり郷土賞(大賞部門)」の2部門にて実施しました。

このほか、「令和4年度手づくり郷土賞受賞記念発表会」を開催し、受賞団体の中から、ベストプレゼン賞を決定しました。

*原則として社会資本は国土交通省が所管する分野

「手づくり郷土賞」の 選定対象

◆「手づくり郷土賞(一般部門)」

(募集対象)

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果

(選考のポイント)

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)
- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)
- ③地域づくりへの成果及び波及効果(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)
- ④今後の活動の継続性・発展性(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他(上記以外の特により優れた内容)

◆「手づくり郷土賞(大賞部門)」

(募集対象)

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果(たとえば、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含み内容が更に充実している成果、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を核とした周辺エリアを含む成果など)

(選考のポイント)

一般部門の選考のポイントに加え、大賞部門においては以下のポイントも重視しています。

- ⑦社会資本の地域への定着状況(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に利用している等)
- ⑧活動の継続状況(規模を広げながら着実に継続している等)
- ⑨活動の発展状況(新たな取組を創出している、他地域へ波及している等)

募集方法と選定

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体または共同*で応募するものとします。社会資本を管理する団体(都道府県、市区町村等)と共同で応募することも可能です。

*同一の社会資本に関して一体的な活動を行っている複数の活動団体が共同で応募可能

地方整備局等で受け付けた応募資料をもとに、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委員会による厳正な審査をした上で成果を選定します。

(選定にあたっての評価例)

- ・里の原風景を残し、環境学習・景観学習が出来るような整備がされている。
- ・周辺地域の観光資源等と連携して特徴のあるインフラツーリズムを実践している。
- ・オンライン等を活用した情報の発信・共有により、地域内外や多世代の関係者を広く巻き込んでいる。 など

選定結果

令和4年6月から8月にかけて募集を行い、全国から「手づくり郷土賞(一般部門)」に29件、「手づくり郷土賞(大賞部門)」に6件、合計35件の応募がありました。

令和4年11月に開催された「手づくり郷土賞選定委員会」において、各選定委員により様々な観点から選考が行われ、「手づくり郷土賞(一般部門)」に16件、「手づくり郷土賞(大賞部門)」に1件、合計17件が選定されました。

認定証の交付

受賞団体には、各地方整備局長等を通じて、認定証が授与されるとともに、副賞として盾が贈呈されました。



認定証



副賞(盾)

受賞記念発表会

手づくり郷土賞受賞記念発表会の概要

手づくり郷土賞に選定された優れた地域づくり活動を広く紹介することにより、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が推進されることを目的に、「令和4年度受賞記念発表会」を開催しました。

発表会では、令和4年度の手づくり郷土賞受賞団体から、「発表部門」・「動画部門」の2部門に分かれてプレゼンテーションをいただき、手づくり郷土賞選定委員会による審査と会場参加者による投票により、ベストプレゼン賞を決定しました。また、審査員特別賞も選定されました。

【手づくり郷土賞受賞記念発表会の概要】

日時: 令和4年 12月 18日(日)

13時00分～16時15分

場所: 東京国際交流館プラザ平成

国際交流会議場

(東京都江東区青海2丁目2-1)

参加者: 約90人(オンライン視聴約240人)

【発表部門】

会場で団体がプレゼンテーションを実施

【動画部門】

団体が事前に作成したプレゼンテーション動画を会場で放映



会場の様子

手づくり郷土賞受賞記念発表会の開催結果

1. 受賞団体によるプレゼンテーション

各団体から活動のプレゼンテーション(発表3分、質疑3分)をしていただきました。(質疑は発表部門のみ)



プレゼンの様子



選定委員による審査

2. ベストプレゼン賞の決定方法

手づくり郷土賞選定委員による評価点と、会場参加者による投票数に応じた点数を合算した獲得点数を基に、選定委員による審査を行い決定。

〈評価のポイント〉

- ① 活動内容や活動の意気込みが伝わったか。
- ② プレゼンが工夫されていておもしろかったか。

3. ベストプレゼン賞等の発表・講評

すべての団体のプレゼンテーションが終わった後、集計・審査を行い、選定委員よりベストプレゼン賞及び審査員特別賞の発表を行いました。

最後に選定委員から講評をいただきました。

〈受賞団体の発表・感想〉

ベストプレゼン賞

■ 松毛川「千年の森」再生プロジェクト

特定非営利活動法人
グラウンドワーク三島
(静岡県 三島市・沼津市)

グラウンドワーク三島は、汚れ、荒廃した松毛川を、20年間にわたって、地域協働の力により「千年の森」として保全してきました。今では、樹林帯を覆い尽くしていた放置竹林が伐採され、植林活動により新たな森が形成されています。今回の手づくり郷土賞とベストプレゼン賞の受賞を原動力に、今後も愚直な市民活動を続けていきます。



審査員特別賞

■ 地域と連携・協力した安全で豊かな都市山麓づくり

市之倉森づくり部会
(岐阜県 多治見市)

20年間の活動について発表できましたこと、さらに審査員特別賞まで頂きましたこと、誠にありがとうございます。一緒に活動してくれた仲間、地域の皆さんに感謝するとともに、責任の重さも感じております。これからは、未来を担う子供たちに、郷土の素晴らしさ、里山と人、人と人との繋がりの大切さを伝えていきたいと思っております。



審査員特別賞

■ ～棕の木の下に集落内外の人が集う野菜市～ 天引むくむく市と活性化の歩み

天引区の活性化と未来を考える会
(京都府 南丹市)

素晴らしい発表が多かった中、選んでいただき大変光栄に思います。老若男女をとわず、みんなが思っている事や夢を話せる所です。女性が元気で、やらされているのではなく、自分たちでできることを楽しんで活動していることが、元気な村作りに、そして今回の授賞に繋がったと思っています。ありがとうございました。



〈選定委員の講評〉

野澤 康 委員長

工学院大学建築学部
まちづくり学科 教授



発表された受賞団体の皆様はいずれも素晴らしい地域への愛着を持って、長年の活動を続けており、甲乙つけがたいものがあった。

活動を続けていくためには、何か楽しむ要素があると、新しい仲間も集めやすくなり、皆様のモチベーションも上がるので、ぜひ楽しむ要素を何かしら考えて盛り込みながら、活動の輪を広げて、さらに楽しい活動を展開していただきたい。

小浦 久子 委員

神戸芸術工科大学
芸術工学部環境デザイン学科 教授



気候変動や経済的な課題など、世界的な状況が地域にも及ぶ時代に、地域を支えているのはそこで暮らし、発見し、次を考えていく活動である。

今後、世代や組織を超えて、様々な連携・ネットワークが広がることによって、皆様の活動そのものが次の地域の時代をつくっていくことになると思う。長く続けて、過去の魅力ではなく次の魅力を伝え、つくっていく展開であってほしいと思う。

坂元 英俊 委員

一般社団法人 地域観光研究所
代表理事



子供たちの未来に対する期待や情熱、循環が、今回の発表の中でかなり語られ、地域活動への情熱を持った人たちが核になり、地域内に広がり、そして、地域外の人たちにも伝わっていくことが、本来日本が持っている、地域の本当の良さではないかと思う。

今、世界でSDGsが語られている中、森そのものが循環していくために、地域住民や子供たちに伝えていく試みがなされていることが、将来に対する非常に大きな期待になる。

河野 まゆ子 委員

株式会社JTB総合研究所
主席研究員



防災、森づくり、生態系の保全などテーマは様々だが、先々の世代に向けて未来を見据えた取組に厚みがあり、取組の中で自分の生きる場所をつくっていて、活動自体から自分が生きる力をもらっているように感じた。

自分の時間を奉仕するために使うというよりは、自分にとって意味のある活動だから主体的に行うスタンスの取組内容など、意気込みが伝わり心を動かされた。

斉藤 俊幸 委員

イング総合計画株式会社
代表取締役/地域再生マネージャー



手づくり感を持って取り組んでいる皆様の活動は甲乙つけがたく、現場の一つ一つの努力や貢献は、日本を勇気づけるものである。

今回多くの動画再生数を誇る取組も見られたが、動画はとても大切なツールであり、世界中から声が掛かる可能性もある。ぜひ皆様の活動で動画をつくってみてはいかがかと思う。

真田 純子 委員

東京工業大学
環境・社会理工学院 准教授



今回は、活動内容が環境のことや持続可能性、生物多様性などに広がっており、環境問題そのものが進化してきていることに連動して、活動も進化してきている。次世代に重要な活動だと思っていただくために重要なことであると思う。

活動の継続が非常に難しいことは、自分自身の取組を通じて実感しており、皆様が活動を続けていることに対して敬意を表したい。

4. 記念撮影

参加いただいた団体、選定委員の皆さんで記念撮影を行いました。



ベストプレゼン賞・審査員特別賞受賞団体との記念撮影



全受賞団体との記念撮影

Facebookページによる配信

「令和4年度手づくり郷土賞受賞記念発表会」の開催にあたり、参加者や関心のある方に少しでも団体の活動を知っていただくため、Facebookページにより、事前に各団体の活動PRを配信しました。

また、当日には発表会の開催結果を配信しました。

〔手づくり郷土賞 Facebookページ〕
<https://www.facebook.com/mlit.tedukuri/>



Face book

全体講評

手づくり郷土賞は、昭和61年度の創設から令和4年度で37回目を迎え、今回選定された17件を含めると、これまで1,544件が選定されています。今年度は、コロナ禍で引き続き地域活動にも制限が生じる中での募集となりましたが、今年も様々な活動団体から優れた取組の応募をいただき、それぞれの地域を良くしていこうという思いが伝わり、甲乙つけがたいものばかりでした。

手づくり郷土賞では、取組の表彰を行うだけでなく、全国に優れた取組の輪を広げていくことも目指しており、受賞団体による発表会は受賞

者の交流・学びの場として、参加者から好評をいただいております。

昨年度に引き続きオンライン配信も行うことで、全国各地からより多くの方にご視聴いただき、賑やかな会となりました。

今後も、受賞された団体をはじめ、地域づくり活動に取り組んでいる皆様におかれては、活動の継続及び更なる発展にご尽力いただくとともに、各々特徴ある地域づくりが進んでいくことを、選定委員会一同期待しています。

第37回「手づくり郷土賞」選定委員会

委員長：野澤 康 工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
河野 まゆ子 株式会社 J T B 総合研究所 主席研究員
小浦 久子 神戸芸術工科大学 芸術工学部環境デザイン学科 教授
斉藤 俊幸 イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー
坂元 英俊 一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
真田 純子 東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授

(敬称略)

選定委員講評

野澤 康 委員長

令和4年度「手づくり郷土賞」を受賞された地域・団体の皆様、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この賞は、各地で整備された社会資本をいかに上手に活用しているか、さらに活動が多くの方々に共有されて、その裾野を広げているかが評価されるものです。

今年度も多種多様な活動が全国各地から応募され、選考には大変頭を悩まされました。近年は、幅広い世代への環境教育に力を入れたり、放置林や耕作放棄地の整備・活用に取り組んだり、世界的なSDGsの動きやわが国の少子高齢化を色濃く反映した活動が多く見受けられるようになってきました。大きな社会問題を身近なテーマにうまくブレイク・ダウンして、「わが事」として活動し続けている姿には心からの敬意を表します。

また、活動を地道に続けることに加えて、その活動を多くの人に知ってもらい、経験やそこから得られた知恵を共有していくことも重要です。それが仲間を増やすことにもつながりますし、どこか別の場所での新たな活動のきっかけにもなることでしょう。特に、今回受賞された地域・団体の皆様には、こうした自らの活動を広報することにも力を入れてほしいと期待しています。

皆様の活動は、長く継続してこそ意味があります。ぜひ、多くの人を巻き込んで、楽しみながら活動を継続・発展させていってください。

河野 まゆ子 委員

手づくり郷土賞を受賞されました地域、団体の皆様に心よりお喜び申し上げます。

昨年度から引き続いてのコロナ禍において地域・国際間移動が制限され、また各地で自然災害が頻発しました。長期化する紛争は、世界経済や物流にも大きな影響を及ぼしています。世界中の人が“自分の地域”に改めて目を向けることとなり、自然環境保全や防災、BCPという観点で地域が自活していく力の重要性が強く意識された一年でした。

そのような背景の中で、今年度は、社会資本を単に整えるだけでなく、子供たちに自然を伝える場にしたり、経済活動や人の繋がりを生み出すプラットフォームにしたりと、創造的な取組が多く見られました。いつもの風景や場所を新たな視点で捉え、新しい関係性を築く場所に変えていく工夫は、地域の社会資本に改めて多くの人の目を向けさせることになり、未来に向けてより多くの方々がその社会資本を「活かす」「使う」「集う」ことに繋がっていくはずで

昨今、働く場と住まう場は混ざり、観光客自身が地域活動に参加するなど、あらゆるものの境界線や役割は固定化されず、とても自由になっています。整備活用に取り組む方々と活動の場を楽しむ方々が混ざり合って社会資本に新しい視点や役割を生み出し、オリジナリティ溢れる地域の未来が描かれていくよう、皆様の活動が更なる発展を遂げていくことを祈念いたします。

小浦 久子 委員

手づくり郷土賞を受賞された皆様、おめでとうございます。

今年度初めて選定委員をさせていただきました。地域の社会資本を活かした活動がこれほど多様に全国にあることを知り、とても心強く感じました。受賞に至らなかった活動にも地域らしい取組が多くありました。こうした地域の人々が主体的に発想する活動が、各地で模索されている持続可能な地域再生の手がかりになります。

多くの地域で高齢化や人口減少が進んでいますが、それはどこでも同じです。それよりも自分たちが暮らすまちや集落の自然風土と折り合うために整備されてきた山や川や海岸、暮らしや地域交流を支える道や公園緑地などの生きている社会資本、かつて地域の賑わいを生み出し役割を終えた鉄道や公共施設、歴史の記憶を残す場所など、地域の資源を発見し、使いこなし、新たな価値を生み出していくことが、地域の元気につながっていくことを皆様の活動が示しています。

そして受賞された活動には、活動が地域経済とつながること、地域の他の活動と連携すること、外に発信することで仲間を増やすこと、といった活動を続けていくための知恵と工夫が見られました。

続けることが力になります。受賞された皆様の今後の活動に期待するとともに、手づくり郷土賞の取組が他の地域の人々にとっての参考になればと思います。

齊藤 俊幸 委員

いつも手づくり郷土賞の発表会場で思うのは皆様が楽しんで関わっているまちづくりに評価による優劣はないこと、そして手づくりという価値はどこにあるのかということです。受賞記念発表会の壇上でも話しましたが、「ひろさき芸術舞踊実行委員会」が一番若い人たちです。ご苦労さまという意味合いの表彰ではなく、大臣表彰を受けこれからも頑張ってくださいという意味が込められたものです。若い皆様に与えられた価値です。ファイトです。動画再生回数が50万回を超えたという事実は、動画によるまちづくりが始まっているということです。高齢者が多いまちづくりの現場ですが若い世代を交えて、動画による情報発信を他の参加団体の皆様にも考えてほしいです。「天引区の活性化と未来を考える会」は手作り感があり、よかったです。きっと無理しないなかで、みんなで楽しいまちづくりを行っているのでしょう。とてもよかったです。まちづくりとは、地域での支え合いです。地域にある資源を見つけ、皆で考え、実行することです。この実行がうまくいかなくても、きっと地域にいる後継者が見ています。どうか楽しく支え合う姿を後継者に見せてあげてください。実行してください。

坂元 英俊 委員

全国の地域が環境保全や活性化のために努力をされ、手づくり郷土賞を受け取られた皆様、おめでとうございます。また、受賞されなかった地域の皆様の取組に対するご努力にも敬意を表します。

昨年度の申請と比すれば、分かり易く言うといイベント系から地域づくり系が多くなってきているように思います。どちらにしても、地域の課題やインフラの活用への取組は、不断のご努力の積み重ねの結果です。その過程の中で、手づくり郷土賞を受賞されることは、これからの取組の励みになるでしょうし、これまで取り組まれてきた努力がいろいろな分野に認められることにつながることであります。地域を良くしていこうという行動は、仲間を増やしながらい人知れず行われることもありますが、取組の成果の中で、人が集まってくることに貢献する場合があります。そこには、地域に住んでいることに誇りを持ち、何とかしていこうというモチベーションが存在します。それは、現在の日本が忘れかけた共通の思いではないでしょうか。年々インフラ整備が進むなかで、地方に残された伝統や文化・歴史、そして町並み。また、特徴ある暮らしに興味が集まりつつあります。インフラと地域がどのように共存して、その魅力をつくり、伝えていくのか。そして、その思いは次代を担う子供たちにも引き継ぐ、地域のために何かをしよう、体を動かそう、といった団体の取組だけではなく、子供たちの育成も重ねあわせた取組の未来に期待しています。

真田 純子 委員

手づくり郷土賞を受賞された皆様、おめでとうございます。

今年もたくさんの取組の中から、手づくり感のあるもの、地域への貢献が大きいもの、継続できる仕組みを備えているものなど、いろいろな視点から考えて選考させていただきました。受賞記念発表会では、実際に書面では分からなかった空気感や地域のカラーなどが分かって、大変興味深かったです。

地域づくりは、持続することが重要です。若い世代は、環境に関する知識も価値観も進化しています。多くの若い人たちの関心と呼び、活動の世代交代を促すには、そうした環境意識の変化に合わせる必要もあるでしょう。地域に密着した課題に答えつつ、新しい風も取り入れて活動を継続させていってほしいと思いました。

また、観光など外の人に来てもらう活動に関して、英語での発信について他の委員からコメントがありました。それに関して、受賞記念発表会の挨拶で忘れていて言えなかったことを思い出したので書いておきます。現在テクノロジーの発達で、多くの文章は自動翻訳で大体のところは分かります。活動のタイトルなど、検索に引っかかるための言葉だけでも英語で発信すると多くの人に伝わります。ぜひ、挑戦してみてください。

I 知床のガードレール雪かきプラス! ～真冬の避難・命を守るまちづくり～



しれとこ・ウトロフォーラム21 / 北海道開発局 網走開発建設部 北海道 斜里町

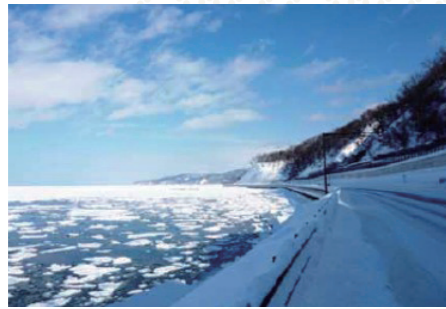
1 社会資本の概要

国道334号は、平成17年に登録された知床世界自然遺産地域を通過する道路であり、沿道にはオホーツク海や知床連山の麓に広がる森をはじめ優れた自然景観を有しています。

国道の北西側に面しているオホーツク海には流水が接岸するため、北海道の中でも希少で幻想的

な流水景観を楽しめます。

国道334号は網走方面から斜里町ウトロ地区へ通じる唯一のアクセス道路となることから、知床世界自然遺産を訪れる年間およそ120万人の観光客はもとより、地域住民の日常生活を支えるためにも欠かせない重要な道路です。



国道334号沿道のオホーツク海
冬期には流水が接岸



道路沿いガードレール部分を
除雪している様子

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

国道334号は、網走方面から知床へ通じる唯一のアクセス道路であり、特に冬期間は道路管理者の除雪による交通確保が重要となりますが、除雪後にできる雪壁によって冬の知床を代表する観光資源である流水景観が走行中に見えなくなってしまうことが悩みでした。

そこで、地域の方々に除雪ボランティアを呼びかけ、斜里町ウトロ地区の流水接岸時期であり冬期

来訪者のピークを迎える2月上旬に雪壁の除雪を行い、沿道景観の魅力を向上させています。

体験要望のある観光客にはスコップ等を貸与し、誰もが気軽に参加できる環境を整えており、近年は、冬期避難訓練とあわせて実施し、地域の冬の災害に対する備えにも貢献しています。



除雪前(左側)と
除雪後(右側)の流水景観



雪かき後の避難訓練状況



避難訓練後の地区防災計画
意見交換会の様子

3 活動の成果や波及効果等

流水景観が見えるよう地域主体で取り組む一体感や満足感を通じて、道路は地域のものとして「大切に維持し価値を高めよう」という意識が広がっています。また、SNSなどでの開催・参加の声かけによる参加者が増加しており、綺麗な流水景観を楽しみ写真撮影する来訪者の光景も多く見られるようになりました。

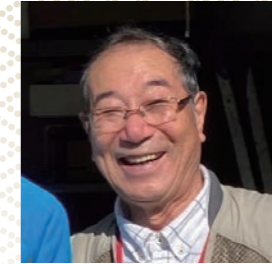


流水が見えるようになった海を背景に
雪かき参加者で集合写真撮影

4 前回受賞時からの活動の発展内容

自然に恵まれた地域ならではの自然災害への不安を抱えてきたなかで、地域の住民や企業、観光客など多くの参加者が集まる雪かき活動と避難訓練や炊き出しを連携して実施する取り組みを始めました。冬期避難の難しさを多くの参加者に体感してもらうほか、浮かび上がった課題を解決していくなどして斜里町ウトロ地区の命を守るまちづくりに寄与しています。

喜びの声



受賞者
しれとこ・ウトロフォーラム21
会長
松本 鉄男

コメント

この度は、前回の受賞に続き、大賞をいただきました。地域の活動が、大きく評価されて大変嬉しく思っています。

私たちは、知床ウトロに誇りを持っています。景観だけでなく、この地域の人を含めた良さを、多くの方に知ってもらえれば、最高に嬉しいことです。

無理することなく、できる範囲でこれらも取り組んでいきます。ありがとうございます。

活動の内容

- 除雪ボランティア、花植えボランティア、マルシェ、冬期避難訓練 など

活動の経歴

- 平成9年 フォーラム21設立
まちづくり活動開始
- 平成19年 花植えボランティア開始
ガードレール雪かき開始
- 平成27年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞
- 令和元年 冬期避難訓練開始

所在地 北海道斜里郡斜里町ウトロ西～ウトロ東

活動主体及び連絡先 活動主体及び連絡先:しれとこ・ウトロフォーラム21
TEL:0152-24-2826

対象となる社会資本 国道334号
※管理者:国土交通省北海道開発局
網走開発建設部



1 “美しい村”鶴居のサイクルツーリズム ～牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ～



1 社会資本の概要

鶴居村は、北海道東部・釧路管内のほぼ中央部に位置しており、東部は標茶町、南部に釧路湿原国立公園を挟んで道東の中核都市である釧路市や釧路町に接し、北西部は釧路市阿寒町に面した人口約2,500人の小さな村です。

広大な釧路湿原国立公園や特別天然記念物タンチョウを有する自然資源に恵まれ、自然観察型の

観光や自然と共生した体験観光など、毎年多くの観光客が来村しています。

そんな小さな村の重要な生活道路である「村道」から見える景観はのどかで牧歌的であり、今では風光明媚な自然景観とともに「村道」も大事な観光資源の一つとなっています。



まちなかサイクリング ポタリング編(折畳自転車)



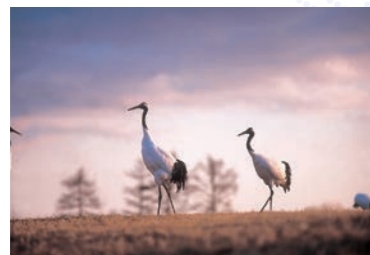
まちなかサイクリングブドウ畑

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

鶴居村は観光資源と交通アクセスに恵まれているものの、観光シーズンの夏と冬に観光客が集中し、かつ、近隣に温泉地等があることから、通過型観光がメインとなり、地域への波及効果が限定的でした。これらの課題を解決するため、村の景観や食を時間をかけて楽しんでもらう中長期滞在型観光への転換を目指す、サイクルツーリズムの推進に取り組んでいます。

まちなかを楽しむ「つるいサイクリングマップ」、

林道を活用した「森林を楽しむガイドマップ」を作成。マップに村内の飲食店や体験施設等を併せて掲載することで、サイクリングをしながら鶴居村のことを知ってもらい、村での滞在を楽しんでもらえる内容としています。また、自転車の旅をとことん楽しむ「HOTEL TAITOのガイド付きツアー」、車に積んだ折り畳み自転車で、気ままに散策を楽しむ「女子旅(ポタリングジャーニー)モニターツアー」なども行っています。



秋はタンチョウ見ながら、サイクリングも



林道でのサイクリング



女子に人気のポタリングジャーニー

3 活動の成果や波及効果等

サイクルツーリズム推進のための活動を続けてきたところ、触発された村内の若手住民により、新たにサイクルスポーツの普及や自転車のイベントを実施する「鶴居サイクルスポーツ振興会」が発足。サイクルイベントの開催で協力・連携するなど活動の幅が大いに広がり、鶴居村をサイクリングの聖地にすべく村一丸での活動となっています。また、宿泊客数や外国人観光客の増加といった具体的な効果が現れており、中長期滞在型観光の宿泊数も着々と増え始め、リピート率も高く、毎年鶴居村で過ごす観光客も増加しています。



鶴居サイクルスポーツ振興会と協力して開催したサイクルイベント「鶴居チャレンジライド」



村民と交流するロードバイクツアー



酪農体験 仔牛にミルクを

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人
美しい村・鶴居村観光協会
服部 事務局長(写真左)
和田 理事長(写真右)

コメント

鶴居村は釧路湿原国立公園や特別天然記念物のタンチョウ、酪農景観が広がる2,600人の小さな村です。この自然豊かな環境を活かした新たな体験メニューとして、村道や林道でMTB・E-BIKEなど様々な自転車を活用したサイクルツーリズムも積極的に取り組んでおります。受賞にあたり、村人はじめ支えてくれた皆様のご協力に心から感謝申し上げます。(理事長 和田正宏)

活動の内容

- サイクリングマップの発行
- ガイド付きサイクリングツアーの実施
- モニタリングツアーの実施

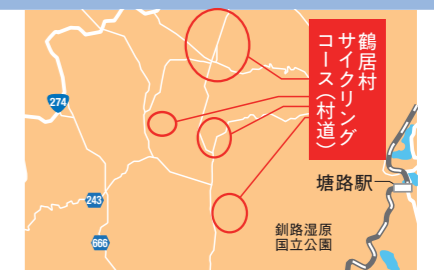
活動の経歴

- 平成24年 「日本で最も美しい村～鶴居村」づくりを目指し発足
- サイクルツーリズム推進活動開始
- 平成28年 ディスカバー農山漁村(むら)の宝 第3回選定
- 令和2年 豊かなむらづくり全国表彰受賞
- 令和4年 第14回観光庁長官表彰受賞

所在地 北海道阿寒郡鶴居村

活動主体及び連絡先 特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会
TEL:0154-64-2020 FAX:0154-64-2020

対象となる社会資本 村道 中雪裡東高台線、中雪裡西1号線 他





1 社会資本の概要

弘前公園は、弘前市の中心部に位置する、総面積約49万2000平方メートル(約14万9000坪)にも及ぶ公園です。その敷地はもともと、藩政時代に弘前藩10万石を治めた津軽家代々の居城であった、弘前城が基になっています。

園内には、天守をはじめ今も藩政時代の面影を残す櫓や城門などの遺構が残されています。これだけの規模の城郭が史跡ごと、往時の姿を留めつつ

公園として開放されている例は、全国でもあまり見ることがありません。

現在では、春には日本一の呼び声高い桜祭りが、秋にはお濠や天守の白壁も真っ赤に染める紅葉まつりが、そして冬には巨大雪像やミニかまくらも多数作られる雪灯籠まつりが催され、夏に市内を運行するねぶた祭りとあわせて、四季を通じたイベントの舞台となっています。



春の弘前城の様子



さくらまつりの様子(弘前公園)

提供:弘前公園総合情報サイト

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

文化財である弘前城本丸を舞台にダンスやパフォーマンスといった現代的なカルチャーを披露すること自体が新しい試みでした。

津軽三味線、津軽笛、ねぶた囃子などの津軽文化とダンスやストリートカルチャーが一堂に会することでクロスオーバーができ、地元クリエイターによって、天守へのプロジェクションマッピングを初めて試みた所、大きな反響を呼び、その後も行われて

います。

津軽の伝統芸能文化、食文化、風景を気を楽しめるとして、海外来場客の人气も高く、弘前の様々なものの認知が一度に上がっていきました。

地元団体の発案で、屋外フェスであえて格闘テレビゲーム大会を開催した所、大変盛り上がり、武術演舞団体との交流も見られました。



弘前城の前でパフォーマンス



津軽三味線の演奏



津軽を堪能できる飲食スペース

3 活動の成果や波及効果等

2019年は、県外や海外からの参加者により約2億2千万円の経済波及効果を創出(総務省産業表による計算)しており、2016年の開催当初から、開催4年で経済波及効果は約6倍に増加しております。また、SHIROFES.をオンラインで世界中に発信をしており地元伝統文化の担い手のモチベーション等の向上、認知拡大に大きく貢献しました。SHIROFES.で好成績を得たダンサーが有名企業とスポンサー契約を結ぶことに繋がり、若い世代に1つの可能性を見せれています。



弘前公園に集まる多くの観客



オンラインで世界に発信



全国から集まる来場者



YouTubeの再生回数は55万回を突破

喜びの声



受賞者

ひろさき芸術舞踊
実行委員会

コメント

私たちはこれまで、弘前じゃなければできないことに着目し、「弘前から世界へ」「世界から弘前へ」をテーマにSHIROFES.を実施してきました。

様々な苦難はありますが、多くの方のご支援・ご協力により事業を継続・発展させることができております。

今後も「世界から弘前へ」繋がるような道を作っていきます。本当にありがとうございました。

活動の内容

- 舞踊による舞台公演の企画、演出、運営
- 芸術舞踊に関わる外部講師の招致、特別講習の開催
- モニタリングツアーの実施

活動の経歴

- 平成24年 ひろさき芸術舞踊実行委員会 設立
- 平成24年 子ども達の芸術舞踊公演 初開催
- 平成25年 ダンス交流文化祭 初開催
- 平成28年 SHIROFES.2016 初開催
- 平成29年 エンターテインメントフェスティバル初開催
- 令和3年 スポーツ文化ツーリズム賞 受賞
- 令和4年 ふるさと大賞 受賞

所在地

青森県弘前市(弘前公園等)

活動主体及び連絡先

ひろさき芸術舞踊実行委員会
TEL:0172-88-6499
E-MAIL:hirosakigeijyutu@gmail.com

対象となる社会資本

弘前公園(弘前城)※管理者:弘前市



中央弘前駅

3 環境保全活動 「防災思想の普及と溪流環境の保全」



甲斐駒清流懇話会 山梨県 北杜市

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

山梨県北杜市を流れる一級河川大武川・尾白川は一級河川富士川の支流です。昭和34年に起きた台風による土石流災害で郷土を失った地域の復活とその災害の歴史を現代の地域住民に知らしめ、溪流環境の保安全管理や豊かな自然を守る地域づくりを目標に環境活動を行政と企業と住民とともに

年間を通じ行っています。また、道の駅「はくしゅう」は、名水を誇る白州ならではの特産品や旬の食材を活かした料理を提供しており、多くの地域住民や観光客が訪れています。



一級河川大武川



道の駅「はくしゅう」での防災フェア



人工産卵河川のメンテナンスの様子

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

防災思想の普及と溪流環境の環境保全のための活動を行っています。事業内容は①毎年恒例で6月の防災月間で地域の小学校と連携して、環境教育として砂防校外授業②はくしゅう道の駅の構内を利用して、6月に土砂災害の疑似体験ができる防災フェアと溪流環境と自然景観を楽しみながら地域の歴史と文化を学ぶ甲斐駒清流ウォーク③秋に源流域の人工産卵河川のメンテナンス④夏休みや秋の連休を利用してはくしゅう道の駅を利用して子供

たちが溪流の魚に親しむヤマメのつかみ取り⑤美しい川づくり委員会では河川整備と美化活動や災害の現地視察や環境を配慮した地域づくりを行っている先進地の見学などの研修会⑥地域の環境美化活動に参加等、地元企業や地域住民と北杜市、国土交通省砂防事務所との共同開催で活動しています。溪流に関する活動では特に山梨県水産センター、峡北漁協と連携して、小武川の源流域で人工産卵河川の維持管理をしています。



砂防校外授業にて土砂災害模型で実験を行う児童



河川環境の整備(草刈り)の様子



甲斐駒清流ウォークの様子

3 活動の成果や波及効果等

年間行事として行う事業として ①砂防校外授業は地域の白州・武川小学校児童3年生全員とその父兄毎年約80名参加しています。②防災フェア&甲斐駒清流ウォークは観光客も交えて約200名~300名参加しています。③溪流祭りは子供たちと観光客交えて150名から200名参加しています。④人工産卵河川のメンテナンスは漁業組合、砂防事務所、建設業界、山梨県水産技術センター、会員交えて約30名から40名参加しています。⑤研修会は会員と一般募集で約20~30名参加しています。これら活動に毎回、会員が40名程度引率や指導で参加しています。活動の感想文やアンケートなどを寄せられるが、感謝の言葉や事業の継続を望んでいます。



溪流祭り



甲斐駒清流ウォーク



砂防校外授業



砂防校外授業での3D自然災害体験車

喜びの声



受賞者
甲斐駒清流懇話会
会長
北原 兵庫

コメント

この度は名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。私達の団体が台風災害に見舞われた地域の歴史の伝承と溪流環境の保安全管理に関する活動を20数年継続して取り組んできたことが報われました。今後も子供たちが安心して遊ぶことが出来る溪流環境を守り、美しい自然景観を誇る地域を多くの人々が憩える場所として利用されるよう、防災思想の普及に努めます。

活動の内容

- 砂防校外授業
- 防災フェア&甲斐駒清流ウォーク
- 人工産卵河川のメンテナンス
- 溪流祭り
- 河川環境の整備

活動の経歴

- 平成11年 甲斐駒清流懇話会設立
- 平成26年 日本水大賞審査員特別賞を受賞
- 平成29年 水資源功績者表彰を受賞
- 令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)を受賞

- 所在地 山梨県北杜市武川町・白州町
- 活動主体及び連絡先 甲斐駒清流懇話会
- 対象となる社会資本 大武川、尾白川、道の駅「はくしゅう」



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

4 歴史的文化遺産を活かした地域振興とまちづくり ~住民主体のまちづくり~



特定非営利活動法人 夢空間松代のまちと心を育てる会 長野県 長野市

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

信州松代は古代から近代までの文化遺産が5キロ四方の地域にぎっしり詰まっている地域です。特に真田幸村の兄真田信之が徳川幕府の命により、上田から松代に移封され、松代藩の初代藩主となって以来250年間、真田十万石の城下町として、

真田氏が十代にわたって統治したため、真田氏伝統文化が今日まで色濃く残る町であり、町内には松代城(海津城)のほか、武家屋敷、古寺、商家などの歴史的遺産が多く残っています。



松代城(海津城)
日本100名城



真田邸(国史跡)



松代高校
総合的な探求の時間にまちを探索

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成5年に長野インターが松代地籍に開設されたのを機に、松代を活性化する機運が盛り上がり、平成12年に長野市が商工会議所を窓口に住民の参加を得て「松代地区中心市街地活性化基本計画」を立案し、「信州まるごと博物館構想」にまとめ、その実現のためには、住民主体のまちづくりを進めるグループ・団体が必要だと行政も後押しして下さり、平成13年6月に100名の住民有志の参画を得て結成されたのが「夢空間松代のまちと心を育てる会」です。

町内に埋もれていた歴史的遺産を住民自らが参画して発掘し、磨き上げて見える化し、点在する地域資源を結びつけ、点から線に・線から面にと「まち歩きコース」を拡大し、松代全体を博物館と見立てたまちづくりを推進しています。また、松代のまちづくりに取り組んできた先人達の想いに学び、想いを受け継いでまちづくりを推進・後世に伝承する活動を展開しています。



松代の魅力・感動を伝える「まち歩き」



庭園都市まつしろ「武家屋敷のお庭拝見」ツアーの様子



松代の歴史文化の学びの場「松代学講座」の様子

3 活動の成果や波及効果等

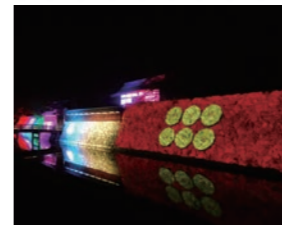
登録有形文化財の認定は令和2年11月現在、建造物37ヶ所・80件、記念物8カ所となっており、長野市全体で144件の内、88件が松代町で61%を占めるまでになりました。

松代まちづくり研究会や各種イベントを通じて、若い世代に松代のまちづくりに対する理解も広がり、町内外から移住して出店やイベント開催を始める等、町の賑わい創出に取り組む若い人が増えてきました。

松代を良くしよう、という住民主体のまちづくりの活動で、「松代は駄目だ」から、「松代は素晴らしいよ」というように住民の意識が大きく変化してきた、と同時に観光客が20万人から50万人へと大幅な増加に貢献しました。



登録有形文化財への登録活動登録候補の検討の様子



真田信之松代入部400年祭



観光拠点「松代まち歩きセンター」の開設



「まち歩きセンター」で販売の各種まち歩き資料

喜びの声



受賞者
特定非営利活動法人
夢空間松代のまちと心を育てる会
理事長
香山 篤美

コメント

この度「手づくり郷土賞」を受賞し大変光栄に存じます。受賞を励みにして、今後も子供達や若い世代への継承に心がけ、行政や関連諸団体と連携して、松代の歴史的遺産を活かしたまちづくりに取り組み、更なる地域振興・観光推進に繋がる活動に取り組んでまいりたいと思います。

活動の内容

- 歴史的建造物を登録有形文化財に登録し保存・利活用する取り組み
- 「まち歩きコース」の開発と散策会を実施。
- 「松代まち歩きセンター」を開設し、まち歩き観光を推進。
- 「松代学講座」を定期開催 など

活動の経歴

- 平成13年 夢空間松代のまちと心を育てる会設立
- 平成19年 総務大臣表彰(地方自治法施行六十周年記念)受賞
- 平成20年 長野県知事賞(美しい日本の歴史的風土100選選定記念)受賞
- 令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

- 所在地** 長野県長野市松代町
- 活動主体及び連絡先** 特定非営利活動法人 夢空間松代のまちと心を育てる会
TEL:026-278-1277
- 対象となる社会資本** 登録有形文化財を中心とした町内にある歴史的建造物等



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

5 新潟の水辺・鳥屋野潟の持続可能な郷土づくり



1 社会資本の概要

新潟市中央区にある「鳥屋野潟・新潟県スポーツ公園」は、一級河川信濃川水系の鳥屋野潟の南側に位置する広大なスポーツ施設を中心とした公園です。公園の中には、南・北多目的運動広場等の運動施設やカナル等の修景施設、自然生態園、ピタハウス等の学習施設が整備されています。

周辺施設には、2002年のワールドカップサッカー会場となったデンカビックスワンススタジアムとHARD OFF ECOスタジアム新潟(県立野球場)が設置されており、その周辺の園地とともに、新潟県におけるスポーツの拠点として広く県民に親しんでもらえる公園となっています。



鳥屋野潟・新潟県スポーツ公園

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

1979年に地元企業8人ほどのメンバーが発起人となって、ゴミを拾いながらのウォーキングを始め、様々な人々が色々な方法で新潟の水辺(鳥屋野潟)の自然環境を大切にしていこうと、1980年に地域を大切に作る社長や店主が集まり新潟市南商工振興会を発足しました。

その後、「鳥屋野潟の自然環境をずっと守っていききたい」「子どもたちの笑顔と未来をつくりたい」という想いを掲げ、市民と地域行政が一体となり地域のお祭り「にいがたカナル彩(さい)」が誕生し

ました。
にいがたカナル彩は、新潟の水辺・鳥屋野潟がある新潟県スポーツ公園で、水辺アクティビティなどを通じて、子どもたちを中心に新潟の自然環境を五感で感じてもらい、新潟の魅力を次代に繋げていく事業です。本事業は、学生もインターンシップで参加し、地域全体がSDGsの目標を掲げ、事業後もサスティナビリティレポートを地域で共有し、地域全体がコミュニケーションを図り、持続可能な郷土づくりを行っています。



にいがたカナル彩



みなとまち新潟を伝える水辺の利活用



子どもたちのステージイベント

3 活動の成果や波及効果等

にいがたカナル彩は、水辺アクティビティなどにより、新潟の自然環境を五感で感じてもらう取組を実施しています。活動には、地元学生が参画するなど地域全体でコミュニケーションを図りながら、「持続可能な郷土づくり」を行っています。これにより、毎年5万人を超える参加者を集め、地域活性化へ寄与するとともに、新潟の魅力を次世代に繋げています。

また、地域のお祭りから持続可能な郷土づくりへと事業目的を発展させ、企業の協賛行為を郷土づくり投資に転換しました。その結果、新型コロナが蔓延しても、変わらず資金調達を可能としています。効果としては持続可能な郷土づくりと企業ブランディングの「Win-Win」が実現しています。

更に、Jリーグ・アルビレックス新潟ホームゲームとの事業開催が加わり、県外から来るアウェーチームの子どもたちも含め新潟の自然に親しんでもらい、新潟の魅力を感じてもらっています。



高校のSDGs委員会
環境活動の発表



ダンスコンテスト



アルビレックス新潟
ホームゲームとの事業連携



県内高校の生産物販売

喜びの声



受賞者

にいがたカナル彩
実行委員長
肥田野 正明

コメント

この度の受賞で、より多くの方々に活動を知ってもらえたことが非常に嬉しかったです。今後も持続可能な事業をより多くの方々と連携し、次代に繋げられるよう活動して参りたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

活動の内容

- 「にいがたカナル彩」の開催
- 地元大学と公園利活用においてゼロイチ事業を構築
- 地元銀行と連携し、アイデアを共有して事業化を実現など

活動の経歴

- 昭和55年 新潟市南商工振興会設立
- 昭和56年 新潟市の「桜まつり」が始まる
- 昭和62年 新潟県の「都市緑花祭り」が始まる
- 平成12年 「桜まつり」「都市緑花祭り」を統合し、「にいがたカナル彩(さい)」が誕生
- 以後、活動を継続中

- 所在地** 新潟県新潟市中央区清五郎33-1
- 活動主体及び連絡先** 新潟市南商工振興会
TEL:025-282-7108
- 対象となる社会資本** 鳥屋野潟・新潟県スポーツ公園
※管理者:新潟県



6 地域のお宝「くびき野レールパーク」 ～よみがえった頸城鉄道～



特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会 新潟県 上越市

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

頸城鉄道は1914(大正3)年に開業したレール幅762mmの軽便鉄道です。長らく地域の人々の交通や物資輸送を担っていましたが、バスやトラック輸送への転換により1971(昭和46)年に廃止されました。頸城鉄道廃線後、蒸気機関車コッペル2号機を除き、当時の車両は行方不明となっていました。30年以上経って兵庫県六甲山中で保管されていることが判明し、2004年に奇跡の帰還を果たしました。

その後、頸城鉄道の中心駅であった「百間町(ひゃっけんまち)駅」の機関庫跡地を利用し、動態復活を果たした機関車や客車、貨車の保存・展示を行う「くびき野レールパーク」を2008年に開園しました。

また、隣接する旧頸城鉄道本社社屋を利用した頸城鉄道資料館では、頸城鉄道で使用された用具や実物部品などの貴重な品々を多数展示しています。



レールパーク車庫



1911年製の蒸気機関車「コッペル2号」



動態復活した1954年製ディーゼル機関車「DC92」

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

くびきのお宝のこす会は、旧頸城鉄道で活躍していた保存車両や、頸城の豪農・瀧本邸など、頸城地域に点在する貴重な歴史・文化遺産や自然環境資源などを掘り起こし、磨きをかけ、賑わいと潤いのあるまちづくりの推進に寄与し、さらに広く紹介することを目的として活動しています。

平成14年より地元有志により廃線となっていた「頸城鉄道」の復元に取り組み、旧機関庫に整備した「くびき野レールパーク」で定期的に行う車両の一般公開・体験乗車イベントでは、毎回県内外か

ら大勢の見学者が訪れるようになりました。

また、地元の小学生や保育園児の郷土学習や各種団体の見学・研修に応じ、頸城鉄道が地域に果たしてきた役割や、復元に掛けた想い等を伝えています。

「くびき野レールパーク」での公開イベント・体験乗車については、見学者からの寄付金(金額は任意)は受領しているものの、入場料・体験料の徴収は行わず、活動はすべて会員のボランティアで運営しています。



六甲山中からの車両搬出作業



枕木、レールの敷設作業



一般公開(体験乗車)の様子

3 活動の成果や波及効果等

平成14年に初めて行った蒸気機関車コッペル2号機の公開展示に始まり、平成16年に兵庫県の六甲山中から7車両の「奇跡の帰還」とその後の内外装の復元整備、機関車2両の動態整備を順次実施するとともに、レールパークの線路延伸等を行い、定期的な一般公開(動態展示・体験乗車会)の開催を行っています。

一般公開の実施や地元小学生等の体験学習を行うなど、県内外から毎年2,500人以上が訪れ、交流・関係人口の拡大、地域の歴史・文化遺産の継承等、子供たちや大人たちが地域に関心を持ち、地域の素晴らしさを感じてもらうことに寄与しています。

また、頸城鉄道と地域の暮らしを偲ぶ写真集や「奇跡の帰還」に至ったエピソードを紹介する書籍の発刊、地域情報誌や新聞への記事掲載も相次いでいます。



一般公開(体験乗車)の様子



一般公開の様子



一般公開(体験乗車)の様子



頸城鉄道を紹介する書籍や記事

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人
くびきのお宝のこす会
会長
西山 義則

コメント

今回の受賞で、旧頸城鉄道を動態保存している「くびき野レールパーク」の魅力が広まっていくことを大変嬉しく思っています。

これまで約20年間、保存活動に関わってくださったすべての皆さんに感謝するとともに、受賞を喜び合いたいと思います。これからも「頸城鉄道」に込められている人々の思いを発信し続け、地域の活性化に努めていきます。

活動の内容

- くびき野レールパークの一般公開、定期公開イベント(動態保存車両による体験乗車会)
- 小学生、保育園児を対象とした学習活動の支援
- 各種団体の見学・研修
- くびき野レールパークの線路補修、枕木交換
- 保存車両の整備

活動の経歴

- 平成14年 蒸気機関車コッペル2号機の公開展示
- 平成16年 くびきのお宝のこす会設立
兵庫県六甲山中から車両が帰還
- 平成19年 特定非営利活動法人として活動開始
以後、活動を継続中

所在地

新潟県上越市頸城区百間町257

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人くびきのお宝のこす会
TEL:025-530-3684

対象となる社会資本

くびき野レールパーク(旧頸城鉄道公開展示保存施設)
※管理者:特定非営利活動法人くびきのお宝のこす会



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

7 地域と連携・協力した安全で豊かな都市山麓づくり



市之倉森づくり部会 岐阜県 多治見市

1 社会資本の概要

土岐川流域では、過去に薪材の伐採や陶土の採掘等により丘陵地の樹林が乱伐され、広範囲の山地が禿敷地(とくしゃち)^{*1}となりました。これに対し、昭和初期より旧建設省や林野庁等により砂防事業及び治山事業が実施され、概ね緑が回復したが、近年は里山林としての管理不足等から、徐々に樹林の荒廃が進みつつありました。土岐川流域グリーンベルト整備事業はこのような背景のもと、多治見

市、土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯として、土砂災害に対する安全性向上、緑豊かな都市景観をより望ましいものとする等を目的に、平成12年から事業が開始され、市之倉地区においては、平成15年から行政と地域住民が協力して、樹林整備活動等を行っています。

^{*1}: 草木が育つための表土が無くなり地肌がむき出しになる状況



禿敷地となった山地



植林が進む山地



緑豊かな山地

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

土岐川流域グリーンベルト整備事業の開始から3年後の平成15年、「はげ山から再生した丘陵を、より安全で豊かな都市山麓に作り上げることを」を目標に、市之倉地区の住民と行政が協力して「おりべの森」「どんぐりの森」「やすらぎの森」「筒小屋の森」の4つの森で活動が始められました。樹林整備のほか、森を身近に感じてもらうための散策道や展望台の整備を行っており、「筒小屋の森」展望台は地域の初日の出スポットになりました。地元の夏祭で

は、4つの森における活動紹介と併せ、伐採木で作した椅子の販売を行っています。また、樹林整備を次の世代に繋げるため、市之倉小学校における樹林観察会や間伐体験のほか、事業主体の1つである多治見砂防国道事務所が行う砂防教室への協力のほか、市之倉保育園においては「どんぐりの森」での課外活動の見守りを行っています。



樹林整備



「筒小屋の森」初日の出



砂防教室

3 活動の成果や波及効果等

当地域は、旧市街地と新興住宅地が混在しており、新旧住民の地域内における結束が課題となっていました。里山の樹林整備から始まった活動は、地域行事への参加に加え、小学校や保育園へのボランティア活動にも広がり、新旧住民のコミュニケーションを醸成する場へと発展しました。特に、次の世代に繋げる活動として始まった、市之倉小学校での樹林観察会や間伐体験は、国土交通省を始めとした行政機関と連携し、樹林の保全、維持管理の大切さ、自然の大切さ、里山と人、人と人との繋がりを学ぶ場として活用されています。



地域とのふれあい



園児とのふれあい



樹林観察会



間伐体験



卒業記念植樹

喜びの声



受賞者
市之倉森づくり部会
会長
加藤 高久

コメント

「荒廃した里山を緑の森にしたい」と始まった樹林整備の活動も今年で20年を迎えます。活動を支えたのは郷土を愛する心、地域の仲間との絆です。これからは、未来を担う子供たちに、郷土の素晴らしさ、里山と人、人と人との繋がりの大切さを伝えていきたいと思っています。

活動の内容

- 「おりべの森」「どんぐりの森」「やすらぎの森」「筒小屋の森」での樹林整備、散策道の整備
- 市之倉夏まつりにおいて樹林整備活動の広報
- 市之倉小学校での樹木観察会、間伐体験、卒業記念植樹の補助
- 市之倉保育園における遠足などの課外活動の見守り
- 市之倉小学校における砂防教室(防災学習)への協力

活動の経歴

平成15年 市之倉森づくり部会設立
令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞
令和5年 設立から20年

所在地 岐阜県多治見市市之倉町

活動主体及び連絡先 市之倉森づくり部会
会長 加藤 高久

対象となる社会資本 土岐川流域グリーンベルト整備事業
市之倉おりべ砂防ダム



8 松毛川「千年の森」再生プロジェクト



特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島 静岡県 三島市・沼津市

1 社会資本の概要

静岡県三島市と沼津市の市境に位置する「松毛川」(沼津市は「灰塚川」と呼ぶ)は、昭和初期の堤防工事によって三日月形の止水域となった、総延長約1.3km、樹林と湖沼面積約6haの狩野川の旧河川敷であり、昔の河道が改変されずに今も残っており、全国的にみても大変貴重な水辺自然環境です。両岸には、エノキやムクノキの巨木など貴重な河畔林・樹林帯が生育し、地域の生物多様性の重要なホットスポットになっています。

しかし放置竹林の拡大や外来生物の侵入など、環境被害も発生しています。そこで本会では、松毛川を「環境教育園・サンクチュアリ」として再生すべく、地域協働による多様な河畔林再生活動「千年の森づくり」に、20年間にわたり取り組んでいます。



松毛川最上流部から両岸の河畔林を望む



松毛川空中写真(手前を流れるのが狩野川)



放置竹林に覆われた河畔林

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

松毛川では、近年、ヘドロの堆積、ゴミや産業廃棄物の投棄、河畔林の枯死・倒木、放置竹林の拡大といった様々な環境被害の進行とともに、地域住民・土地所有者の高齢化による放置・荒地化が問題になっています。

そこで本会では、巨木群を覆う総延長約2.4kmの放置竹林の伐採と、伐採跡地への潜在自然植生12種・7,000本以上の植林、伐採した竹のチップ化(竹チップは苗木の肥料として活用)、止水域を覆

いつくすほど繁殖した外来種ホテイアオイの駆除、不法投棄された粗大ゴミの除去など多様な環境再生活動に取り組んできました。

さらに、松毛川の環境の貴重性や環境再生の経緯などを伝えるため、これらの活動を高校や大学、企業の実習・研修の場として活用したり、専門家を講師に招いた自然観察会を開催したり、環境教育やSDGs実践活動にも取り組んでいます。



地域協働によるゴミや産業廃棄物の清掃活動



大学生による放置竹林伐採作業



地元中学生による植林活動

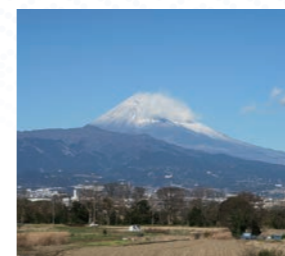
3 活動の成果や波及効果等

巨木群を覆い隠していた放置竹林の伐採が進んだ結果、これまで竹林に隠されていた河畔林・川面・富士山の眺望が楽しめるようになり、また、植林した苗木約7,000本が順調に成長し、原風景の森が再生されてきたことで、最近では県内外への認知が進み、自然散策やバードウォッチングに訪れる観光客が増加してきました。

また令和2年には、約3,000m²の三島市側の河畔林をトラスト活動によって本会が買収し、本会による恒久的な河畔林の保全が可能となりました。



河畔林再生によりご神木現る



狩野川堤防から望む松毛川河畔林と富士山の景観美



松毛川でのバードウォッチング



トラスト活動により取得した河畔林

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人
グラウンドワーク三島
専務理事
渡辺 豊博

コメント

長年にわたる地道な環境改善活動を、このような形で評価していただき、大変うれしく思います。

グラウンドワーク三島は、20年間にわたり、汚れ、荒廃した松毛川を、地域協働の力により保全・再生し、放置竹林の伐採や植林活動の成果によって新たな「千年の森」が形成されてきています。

今回の受賞を原動力に、今後も思直な市民活動を続けていきます。

活動の内容

- 三島市内の水辺自然環境再生活動(松毛川、源兵衛川、御殿川、大場里山、境川・清住緑地等)
- 「環境出前講座」の開催
- 富士山麓の湧水地保全活動
- 農業事業(「三島そば」「三島米・ゆめみしま」等の栽培)

活動の経歴

- 平成4年 グラウンドワーク三島設立
- 平成14年 松毛川千年の森再生プロジェクト開始
- 令和3年 第21回中部の未来創造大賞「大賞」受賞
- 令和4年 第6回三島市景観賞「優秀賞」受賞
- 令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

- 所在地** 静岡県三島市御園、沼津市大平地区
- 活動主体及び連絡先** 特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島
静岡県三島市芝本町6-2
TEL:055-983-0136 E-MAIL:info@gwmishima.jp
- 対象となる社会資本** 松毛川(灰塚川)



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

9 小倉山森林再生プロジェクト ～地域の人の輪によるアカマツの再生～



景勝・小倉山を守る会 京都府 京都市

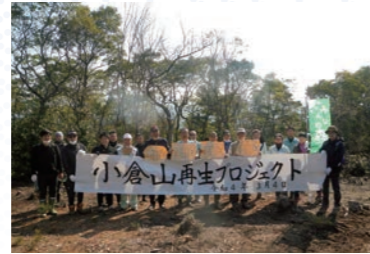
1 社会資本の概要

京都の西に位置する嵯峨嵐山は自然豊かな環境であるとともに、全国でも数少ない都市型観光地です。地域には沢山の旅館・ホテル、飲食店、商店街、寺院が立地しています。その嵯峨嵐山の地においても特に際立つ小倉山は、平安時代より紅葉と鹿の名所として和歌に読まれる名山であり、歴史的風土特別保存地区にも指定され、小倉百人一首でも有名な場所です。

毎月、地元団体・住民等地域の方々とともに維持管理活動を行ったり、文化人等が多い小倉山において地元の人々が講師になり、子供達、そしてその若い世代の親に地域の風土(自然や歴史)を伝えるイベントや地元小学校と連携した森林環境教育活動を展開しています。



大堰川から小倉山を望む(右)



植樹活動時の集合写真



伐採木のチップを敷均した散策路

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

かつての小倉山は、アカマツが中心の森林植生と景観でしたが、燃料転換の影響から山に人が入らなくなった結果、荒廃した環境となり、アカマツは枯れ、ソヨゴやコジイが優占する植生景観へと変化しました。こういった環境の変化は、多くの寺院の借景景観としての価値を低下させるとともに、長い時代暮らしてきた生物相の減少にも繋がっていま

した。そのため、地域団体や住民が1つになり、歴史ある嵯峨嵐山の森林景観を再生するため、定期的な除伐等維持管理活動や、森林環境教育活動を通じて、地域風土(歴史・自然)の価値を知ってもらいながら、地域が連携し維持保全活動を行う人の輪を広げる活動を行っています。



森づくり活動(アカマツ林)



森づくり活動(竹林)



間伐材を使ったカトラリーづくりイベント

3 活動の成果や波及効果等

会設立当初の会員数が30名足らずであったのが、森づくりに関わるイベント等を行うことにより関心が深まった方が多く、現在は70名近くの会員数になっています。活動を活性化につれ、地元の企業や商店街の関心も深まり、各種イベントからの参画者とともに団体さんの会員数も増加しています。

かつての荒廃した森林は明るく再生され、植樹したアカマツは6m近く成長、林床ではツツジが彩る景観となりました。



しめ縄づくりイベント



コケテラリウムづくりイベント



季刊誌の発刊



竹林再生から得た副産物(筍)を使った缶詰の作成

喜びの声



受賞者
景勝・小倉山を守る会
会長
長尾 憲佑

コメント

この度は名誉ある賞を頂き有難うございます。私たちは嵯峨嵐山で京都のアカマツ林の借景景観を再生する活動を行っています。アカマツが成木になるまで35年はかかると言われています。この活動が発展的に受け継がれていくよう地域の皆様と汗を流し、嵯峨嵐山の景観再生に努めています。

活動の内容

- 除伐等の森林維持管理活動
- 地域の風土を伝えるイベントの開催
- 地元小学校と連携した森林環境教育活動
- 季刊誌やハンドブック等の発刊
- 副産物を使った缶詰の作成・販売

活動の経歴

平成25年 景勝・小倉山を守る会設立
令和3年 インフラメンテナンス大賞特別賞 受賞
京都市景観奨励賞 受賞

所在地 京都市右京区小倉町

活動主体及び連絡先 景勝・小倉山を守る会
京都市中京区橘町92
TEL:075-708-8587 FAX:075-708-8494

対象となる社会資本 小倉山



10 ～ 椋の木の下に集落内外の人が集う野菜市～ 天引むくむく市と活性化の歩み



天引区の活性化と未来を考える会 京都府 南丹市

1 社会資本の概要

京都府南丹市の西の端にある天引区は、兵庫県丹波篠山市と隣接する山間の小さな村であり、林業で栄えた昭和39年には戸数85、人口421人でしたが、令和4年には戸数59、人口151人にまで減少し、55才以上が半数以上の準限界集落です。

天引区では、通行量が多い国道372号が村の中を通っている状況を活かし、道路に隣接するグラウンドで

野菜市を開催したり、集落内にある天引八幡神社や薬師堂、千体地蔵などの歴史的建造物を散策するツアー等のイベントを開催しています。また、集落内を流れる石積み水路は生き物にとって貴重な環境であり、令和3年からはこの水路の補修と石積み技術継承のため、石積み水路補修ワークショップを開始しました。



天引集落の風景
奥の道路が国道372号線



天引のシンボル 椋の木
手前のグラウンドで野菜市実施



天引のシンボル 薬師堂
年3回ライトアップ実施

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

故郷消滅の危機感から、平成24年に全住民と地元出身者の有志で「天引区の活性化と未来を考える会」を結成。結成の際、先ず「自由に発言する」「人の発言をけなさない」「前例に囚われない」「夢を語る」の会議4原則を定め、皆が自由に前向きに発言できる場にしました。

会の事務局には様々な人に参加を促し、今まで

とは違った発想や実行力、人脈等を活かし、野菜市「天引むくむく市」や虫散策と音楽を中心とした「天引ほたるコンサート」のイベント等を開催しています。ただ、野菜市開催は月2回に抑える等、長続きできるように無理しないことを最優先とし、イベントのステージ等は、既成のものを積極的に活用するなど、無駄な費用の発生を抑えました。



野菜販売や屋台を出店する
天引むくむく市



地域の一大イベントに成長した
天引ほたるコンサート



石積み水路の
補修ワークショップ

3 活動の成果や波及効果等

「会」結成時に決めた会議の4原則は、自由闊達な話し合いを保障し、月刊紙「あまびき元気ニュース」は情報の共有を促しました。また、「天引むくむく市」等のイベントは地域の人が顔を合わせる貴重な場となっています。さらに集落外の人との交流が進む中で天引ファンが増え、天引への移住を希望する声も増えていきます。

現在、「会」の中にプロジェクトチームを立上げ、移住受入れの為に空家の紹介等を行っており、少しずつ効果が出始めています。



あまびき元気ニュース



むくむく市での交流の様子



令和元年より開始した
買い物支援サービス



天引区の活性化と未来を
考える会の皆さん

喜びの声



受賞者

天引区の活性化と
未来を考える会
会長
小島 喜久男

コメント

10年の節目となる令和4年度にこのような賞を受賞することができ、本当に嬉しく思います。150人の小さな山間の集落ですが、自分たちがこの地で長く生きていくために、自分たちの回りにある豊かな自然と文化遺産を大切にしながら、無理せず暮らしていきたいと思っています。椋の木は皆様のお越しをお待ちしております。どうぞお越しください。

活動の内容

- 「あまびき元気ニュース」の毎月発刊
- 野菜市「天引むくむく市」の定期開催(月2回)
- 天引ほたるコンサートの毎年開催 ※現在休止中
- 水辺の生き物調査の実施
- 石積み水路補修ワークショップの実施
- 買い物支援等の高齢者支援サービスの実施
- 空家対策の実施

活動の経歴

- 平成24年 天引区の活性化と未来を考える会設立
- 平成25年 天引ほたるコンサートの開催開始
- 平成28年 天引むくむく市の定期開催開始
- 令和元年 買い物支援サービスの開始
- 令和4年 あしたのまち・くらしづくり活動賞 内閣総理大臣賞 受賞

所在地 京都府南丹市園部町天引

活動主体及び連絡先 天引区の活性化と未来を考える会
京都府南丹市園部町天引向井山25
TEL:0771-65-0152 FAX:0771-65-0152
E-MAIL:amabiki.kasseika@gmail.com

対象となる社会資本 国道372号線



1 放置された森と森林資源を利活用して「里山の森づくり」



かしわら森の会 / 柏原市 大阪府 柏原市

1 社会資本の概要

柏原市立玉手山公園は大阪府柏原市にあり、近鉄大阪線 河内国分駅 徒歩20分、近鉄南大阪線 道明寺駅 徒歩15分の場所に位置しています。明治41年に創設された「玉手山遊園地」が前身で、平成11年3月に柏原市へ移管されました。総面積は、約68,000m²(約20,000坪)です。春は梅や桜、初夏は新緑とツツジ、秋には紅葉など、園内には自然が

いっぱいです。また、アスレチック風の大型組み合わせ遊具や、ちびっ子ゲレンデも設けられました。子供から大人まで楽しめる公園です。

公園展望台から日本第2位の大きさで墳丘の体積は国内第1位の前方後円墳の応神天皇陵古墳や仲姫命陵古墳、允恭天皇陵古墳、墓山古墳、白鳥陵古墳等をパノラマにて望むことができます。



柏原市立玉手山公園



柏原市立玉手山公園



玉手山公園から古墳群を望む

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

かしわら森の会は、2015年から柏原市の自然観察の団体として結成してとりにくできました。

令和元年には柏原市から「柏原市立玉手山公園の梅林の南側に市の森林があり、整備してもらえませんか」という提案があり、令和元年3月には市と「覚書」を結んで、柏原市立玉手山公園の一部で森林を「玉手山こども体験の森づくりプロジェクト」として整備活動にとりくむことになりました。

整備している森を「いぶらの森」と名付け、親子対象の「森の音楽会」、「森でネイチャーゲーム」などのイベントを開催しています。整備で出てくる木材は廃棄せず、斜面地のステップ材や子どもに体験させるための椎茸栽培用の原木として再活用しています。子どもたちに森の中に落ちている落葉で葉づくりやドングリの種類の観察や工作教室を開催しています。



整備の様子



「森の音楽会」



森で子ども達が遊ぶ様子

3 活動の成果や波及効果等

「いぶらの森」では、コバノミツバツツジが自生していて、昔から「万葉ツツジ」と愛称されています。地域には「万葉つつじクラブ」という保存会もあり、植樹活動を共にしています。

令和元年から「いぶらの森」での「里山の森づくり」整備が3年を経て一定の目標を達成し、森での活動やイベントへの参加も令和元年度701人、令和2年度713人、令和3年度390人となりました。また「いぶらの森」活用への他の団体や学校などから期待が寄せられるようになってきています。



万葉つつじクラブとの植樹活動



親子の昆虫観察会



イベント用マップ



間伐材で手作り樹木名プレート

喜びの声



受賞者

かしわら森の会
代表
三浦 誠

コメント

森林整備のためには、森の資源の活用や手作りがあたりまえのこととして取り組んできましたが、今回の受賞によりそのようなことが大切なことなんだと改めて自覚することができました。

作業でのリスクやコロナ禍のなか、皆さんと汗を流してきた甲斐があったと喜んでます。

活動の内容

- 森林整備
- 各種イベントの実施
- 植樹活動

活動の経歴

- 平成27年 かしわら森の会設立
- 平成31年 柏原市と「覚書」を結び、整備開始
- 令和3年 「おおさか環境賞」奨励賞 受賞
- 令和4年 国土緑化推進機構・理事長賞 受賞

所在地 大阪府柏原市円明町(柏原市立玉手山公園)

活動主体及び連絡先 柏原市国分本町 事務局 榎谷 政則 TEL:072-977-7677

対象となる社会資本 柏原市が所有する玉手山公園の一部の森林



12 最古の四国遍路道を活かす ～歴史的遺産の魅力を発信して地域活性化～



加茂谷へんろ道の会 / 阿南市 徳島県 阿南市

1 社会資本の概要

弘法大師・空海ゆかりの八十八箇所の霊場を巡る四国遍路は、四国を全周する1,400kmにも及ぶ巡礼の道で、遍路道は1200年の歴史を超えて現代に継承されています。

阿南市加茂谷地区には未舗装で奇跡的に当時のまま残る遍路道「かも道」「太龍寺道」「いわや道」が存在しています。平成22年に「太龍寺道」が初めて国史跡「阿波遍路道」に指定され、平成25年には

長期間廃道だった「かも道」が徳島県と阿南市による整備で復活し、平成26年には「龍の窟」と呼ばれた鍾乳洞跡へ太龍寺から向かう「いわや道」を地域の協働で復活させました。

また、「かも道」には南北朝時代の貞治4年(1365年)の年号が刻まれた「丁石」(1丁間隔に置かれた道しるべ)が残り、四国最古の遍路道の証しとなっています。



舎心嶽の岩上に坐る空海像



最古の遍路道の証し「丁石」



歩いて巡る太龍寺への遍路道

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

地域住民には単なる生活道であった「かも道」が、四国遍路最古の遍路道として価値のある古道だと知ったことで、加茂谷地域の住民が「地域の歴史的な宝となった遍路道」を生かした地域の活性化を目指そうと集まり、「加茂谷へんろ道の会」を平成25年に発足させました。

活動当初は遍路道の日常的な管理(枝打ち、下草刈り、危険箇所の見回りなど)、台風通過直後

の点検や倒木・落石の除去から開始しました。現在は文化財としての価値を損ねない施設補修や、利用者の安全利用を支援する安全対策や案内標識の設置にも取り組んでいます。また、遍路道ガイド活動やウォークイベントの開催、SNSによる活動紹介、広報誌やマップの発行、地元小学校の環境学習や大学生のインターシップに協力することで加茂谷地域全体の魅力を発信しています。



巨大倒木の除去



石柱説明を記した案内標識



大学生のインターシップ活動

3 活動の成果や波及効果等

各種イベントには県外を含む多くの方々に参加頂き、関係人口が拡大しています。また、活動を進める中で、小中学校の総合学習や野外活動への協力や、地元企業の新規採用職員との交流の場が増加しています。これまでは地域内の高齢者が活動の中心でしたが、若い方々との協働で「新たなやりがい」が得られ、次世代への継承意識も高まっています。

四国全域が協働する「四国遍路道の世界遺産登録」の取組において、地域が主体となった良好な事例として評価され、様々な地域づくり団体からの整備・保全手法に関する視察が増加しています。



あなん遍路おもかげウォーク



住民参加のお接待「にっき餅」作り



小中学生の総合学習支援



マスコミ取材への協力

喜びの声



受賞者
加茂谷へんろ道の会
会長
横井 知昭

コメント

十年間、活動に関わってきた仲間と受賞の喜びを分かち合っています。四国遍路道に関わる活動では、四国で初めての受賞です。地道な活動が認められたことに地元の皆さん、四国四県の関係者から賞賛の言葉を戴いています。今後とも、地元の歴史遺産を守り、その魅力発信活動を続けることで、地元の元気、活性化につながると信じて活動を進めます。加えて、四国遍路の世界遺産登録推進にも弾みがつけば、なお幸いです。

活動の内容

- 遍路道の保全整備(掃除・補修・倒木処理など)
- 遍路道ガイド
- 魅力発信の広報活動
- 遍路道ウォークイベントの開催
- 小中学校等の学びの活動への参画

活動の経歴

- 平成25年 加茂谷へんろ道の会設立
- 平成26年 あなん遍路おもかげウォーク開始
- 平成29年 とくしま環境県民会議表彰受賞
とくしまボランティア賞奨励賞受賞
- 令和2年 ウォーキングワークイベント開始
- 令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地 徳島県阿南市加茂町・水井町・大井町

活動主体及び連絡先 加茂谷へんろ道の会 TEL:090-4781-6832
阿南市建設部土木課 / 市民部文化振興課 TEL:0884-22-1782
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hennromiti/>

対象となる社会資本 遍路道(かも道・太龍寺道・いわや道) / 市道若杉線



13 街道遺産発見の旅 ～歩く唐津街道の旅人と標識設置活動



玄界灘風景街道・歩く唐津街道の旅 佐賀県唐津市～福岡県北九州市

1 社会資本の概要

北部九州に位置する国道202号や204号沿いの玄界灘沿岸地域は、弥生時代末期から大陸との交流路が開かれており、その後も大和朝廷と筑紫との連絡道として整備が進み、奈良時代の国の骨格道路・七道整備の先駆けとなるものといわれています。この道筋は神功皇后(3C)の新羅遠征や、豊臣秀吉による朝鮮出兵による軍事用道路としても利用さ

れ、江戸時代の参勤交代制度などによって道路網の再編や宿場・沿道環境の整備などの道の歴史を刻んできました。沿線には街道時代の名残である14の宿場をはじめ、祭りなど数多くの街道遺産が残っており、海に面した街道沿いは地域ごとに異なる美しい景観も有しています。



厳冬下師走の旅人／唐津城・舞鶴橋



室見川に映る福岡タワーと旅人



石炭積出で賑わった洞海湾の夕日

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「街道遺産発見の旅」は、旧唐津街道(約140km)をメイン街道とし、これに接続する長崎街道などを舞台にしています。車社会となった現代では、古来からの遺産も地域住民さえ気づかない物となってきており、「歩く唐津街道の旅」は、こうした遺産にスポットライトを当てる事で、未来へ継承し新時代でも活用する方法が見いだせないかという思いから活動を行っています。ウォーキングを通して発見した遺産の存続・継承・活用を活動の目標として、更に広く関心を抱いてもらうための工夫「プラス5」

の活動も実施しています。
①資源マップ・参加グッズの制作
②マイスター制度と完歩賞の授与
③記念ウォークや交流ウォークの実施
④ゴミ拾い活動
⑤唐津街道標識設置(地元や来訪者への周知や活用をネライとして、全区間に亘る統一的な標識を設置)
また、国の運動である「日本風景街道」のパートナーシップとして取り組んでいます。



資源マップと参加グッズ



通行手形



唐津街道標識

3 活動の成果や波及効果等

歩く旅は150回を超え、参加者・支援者も質・量ともに充実し、訪問先との交流や広報活動・支援の仕組みも定着化してきています。回を重ねたことで、仲間づくりはもとより、現地ガイドを名乗り出る一般参加者など、参加スタイルも多様化してきていますし、資源マップや記念誌などの制作物は関係機関や地域へ配布等することで、参加者のみならず、街道遺産の掘り起こし、保存活動、広報活動等に成果を上げてきています。

配布資料や参加グッズ、周年記念活動は参加意欲向上に大きな効果があり、毎年発行の通行手形(参加毎にシール貼り)にはコレクターもいます。

さらに、標識設置活動は、統一的デザインにより地域差をなくし、沿道環境整備や地元への啓発活動に波及しており、14の宿場間に現在11ヶ所の設置を達成しており、沿道地域の新たなシンボルとなってきました。活動内容や波及効果はウォーキングに留まらず多岐に渡るようになり地域間の交流の場や、関心を寄せてもら分野も広がり、今後の活動での展開が楽しみです。



歩く旅ゴミ拾い隊



マイスター認定



現地でのガイド



150回記念

喜びの声

受賞者



玄界灘風景街道・歩く唐津街道の旅
代表 梶谷 秀秋

コメント

古来、「道」は私たちとともに歴史を刻んできました。また、沿道の景観もその形を変えながらも未来へ向けた資源を育てています。歩を刻みながら、街道遺産を感じ・ふれ合い、そして次世代へ繋げたい。この受賞を機に、さらなる仲間づくり、街道資源の発見・活用への思いを新たにしています。多くの方々の支援を励みに「歩く旅」は続きます。

活動の内容

- 月1回の参加者自由のウォーキング
- 街道遺産発見や史跡ガイド
- 【プラス5】の活動
 - ①資源マップ・参加グッズ ②マイスター認定・完歩賞
 - ③記念ウォーク・交流ウォーク ④清掃活動
 - ⑤唐津街道標識設置活動

活動の経歴

平成8年 旧唐津街道ジャーニーランウォーク発足
 平成21年 「歩く唐津街道の旅」として唐津街道往還再スタートし、毎月第4日曜日・年12回のウォーキングを実施
 令和4年4月で150回を迎える
 令和2年 唐津街道標識設置活動開始
 令和4年5月までに11基設置

所在地

佐賀県唐津市～福岡県福岡市～同県北九州市門司区

活動主体及び連絡先

玄界灘風景街道・歩く唐津街道の旅
世話人会代表：梶谷秀秋
masutani.h9@major.ocn.ne.jp

対象となる社会資本

国道202号、204号など旧街道沿線地域



14 菊池川をフィールドとした子供たちとの体験学習会 ～見なれた自然から驚きと感動を～



特定非営利活動法人 菊池川自然塾 熊本県 山鹿市

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

菊池川は、豊かな自然に囲まれた熊本県北部に位置する一級河川であり、その流域は、古代から受け継がれた条理や棚田といった米作りによる土地利用の広がりや姿をとどめ、さらには、米作りがもたらした芸能・食文化等があり、日本遺産に登録されています。

菊池川自然塾は、自分たちを育ててくれた菊池川の良さを子供たちにも知って欲しいという思いから設立し、菊池川流域や、そこに関わる地域で育まれている人々が、自らを育てている自然を具体的に理解し、より効果的に自然の真理を学んでいただくことを目指しています。



菊池川



屋内学習



菊池水源観察会

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

設立から現在までの約13年間、小・中・高校生を対象とした観察会や学習会を年10回程度開催しており、菊池川流域をフィールドに、野外での自然観察を基本とした体験活動を実施しています。

① 観察会・学習会での体験活動

子供たち自らが採取した植物や魚を使って標本作成や解剖を実施し、驚きと感動を味わっても

らうことで、自らを育てている自然を理解し、科学の眼を養ってもらうことに取り組んでいます。

② 若者たちが切磋琢磨できる環境の提供
地質(化石、鉱物を含む)・植物・動物・考古学・天体など、その道の各専門家が講義を行っており、「様々な若者たちが集い、切磋琢磨する場」を提供しています。



植物観察会



生物観察学習会



魚の捕まえ方の学習

3 活動の成果や波及効果等

子供たちが、菊池川流域の豊かな自然や文化に触れる良い機会となっており、観察方法や自然生態などを身につけてもらうことが出来ました。

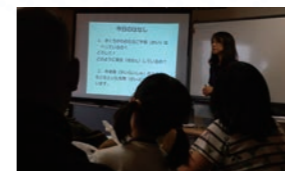
小学校3年生の総合学習においては、「菊池川について知ろう」と題した学習支援も実施しており、学校教育への貢献にも繋がっています。

また、観察会・学習会後に行った参加者アンケートにおいては、「自然はすばらしい」、「菊池川をもっと調べたい」とのご意見もいただいております。菊池川の自然についての再認識や郷土愛の醸成にも繋がっていると感じています。

上記の活動成果は、本取組を共に実行する高校・大学・河川協力団体・菊池川河川事務所等の活動の励みとなっており、各団体の連携強化に繋がっています。



子供たちが川に入り、自分たちで魚の採取。



熊本大学の教授による魚の種類、住処について説明。



植物観察方法の学習会



植物標本の作製



菊池川河川敷での植物観察と採取

喜びの声



受賞者

NPO法人
菊池川自然塾
理事長
富田 克敏

コメント

この度は、令和4年度 手づくり郷土賞に選定いただき、誠にありがとうございます。

菊池川自然塾は、これからも菊池川流域の恵まれた自然や文化を学び・知る体験活動を通して子供たちに驚きと感動を体感させるとともに、科学の眼を育てていきたいと考えています。

活動の内容

● 子供たちを対象とした野外での自然観察を基本に、地質、植物、動物、考古学、天体、文化等の観察会と学習会を実施している。

活動の経歴

- 平成20年 菊池川自然塾設立
- 平成26年 菊池川河川事務所 国土交通行政功労表彰
- 平成26年 特定非営利活動法人菊池川自然塾に移行
- 令和元年 九州地方整備局 国土交通行政功労表彰
- 令和3年 第30回くまもと環境賞受賞

所在地

鹿本町水辺の学習館「ゆめほたる」
熊本県山鹿市鹿本町中川1130-5

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 菊池川自然塾
TEL:0968-41-6325

対象となる社会資本

菊池川



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

15 山国川の美しい景観と歴史文化を 守り伝える ～地域が連携した観光ガイド～



中津の郷土史を語る会 / 中津の歴史と文化を学ぶ会 / 三光観光ボランティアガイドの会 /
本耶馬溪町観光ボランティアガイドの会 / 耶馬溪歴史観光案内人の会 / やまくにの歴史と文化を学ぶ会

大分県 中津市

1 社会資本の概要

山国川はその源を大分県中津市山国町英彦山に発し、同市山国町、耶馬溪町を流下し、周防灘にそそぐ幹川流路延長56km流域面積540km²の一級河川です。浸食地形による渓谷が多く存在し、上流部には秋の紅葉が絶景の深耶馬溪、中流部には競秀峰が連なる青の洞門、下流部には河川の景観と調和した中津城など、山国川を軸とした景勝地に毎年多くの観光客が訪れています。また、やまくに源流

祭り、耶馬溪ダム湖畔祭り、禅海ふるさとまつり、鶴市花傘鉾祭など山国川に関する伝統の祭りや多くのイベントが盛んに行われています。

中津市の主要施策として山国川上下流域を一体とする観光を推進しています。観光を通じて、経済的な地域活性化のほか、郷土への愛着心を育む担い手としての人材づくりを旧中津・三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国の各地域のガイド団体が積極的に進めています。



山国川上流域(猿飛千壺峽)



山国川中流域(耶馬溪橋)



山国川下流域(中津城)

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

山国川流域に広がる広大な景勝地の歴史文化を語るストーリー「やばけい遊覧」が平成29年に日本遺産に認定されました。毎年春と秋に中津玖珠日本遺産推進協議会が主催する、奇岩と渓谷が織りなす自然美を四季折々に楽しめるイベント「日本遺産やばけい遊覧博覧会(やばはく)」では、住民の視点でつくられた地域の魅力が伝わる取り組みをプログラムとして提供しています。

市内小中学校の地域学習の講師として、ゲストティーチャー、紙芝居公演や平和授業・屋外授業での地域案内、登山ガイド、など、地域の歴史文化や自然の魅力を地元の言葉で伝え、子供たちの故郷への愛着と誇りをはぐくむなど、多岐に渡る活動を行っています。



まちなみ探検ガイド
(中津の郷土史を語る会)



ワンパク! たんけん中津ガイド
(やまくにの歴史と文化を学ぶ会)



八面山桜ウォークガイド
(三光観光ボランティアガイドの会)

3 活動の成果や波及効果等

各地域のガイド団体は、観光客に対し丁寧にわかりやすく、おもてなしの心づかいをモットーに中津の魅力を伝えてまいりました。ガイドの実地研修や連絡協議会を定期的に開催し、ガイド力の研鑽、情報収集に努め、地域の観光客誘致に大きく貢献しています。

山国川流域の観光スポット周辺の道路清掃や花の植栽をおこない、観光客に気持ちよく楽しんでいただけるような環境整備、また日本遺産の魅力を体感できる体験プログラム「やばはく」などあらたなコンテンツの創出にも取り組んでいます。今後も子どもたちの歴史学習や子どもガイドの育成、高齢者の生きがいづくりなど、郷土愛の醸成と地域活性化の活動に引き続き取り組んでまいります。



史跡現地研修
(中津の歴史と文化を学ぶ会)



歴史紙芝居講演
(耶馬溪歴史観光案内人の会)



青の洞門周辺清掃活動
(本耶馬溪町観光ボランティアガイドの会)



やばはくトレッキングツアー
(本耶馬溪町観光ボランティアガイドの会)

喜びの声



受賞者
中津耶馬溪観光ガイド
連絡協議会
会長
本徳 照光

コメント

この度は栄えある賞を賜り心より感謝申し上げます。山国川流域で特色あるそれぞれの地域の魅力を伝えるため6つの団体が連携しながら活動をおこなっています。今回の受賞で、山国川の恵みが織りなす絶景や中津の歴史文化の魅力がより多くの人々に伝われば幸いです。今後も地域の魅力を後世に大切に伝え残すため精一杯活動に取り組んでまいります。

活動の内容

- 観光ガイド
- 郷土歴史講座開催
- 清掃活動
- 植栽活動
- 歴史教育活動

活動の経歴

- 昭和51年 中津の郷土史を語る会設立
- 以降各団体設立
- 令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地

大分県中津市大字島田219-2

活動主体及び連絡先

中津耶馬溪観光ガイド連絡協議会
(中津耶馬溪観光協会)
TEL:0979-64-6565

対象となる社会資本

山国川流域全体
※管理者:国土交通省、大分県



16 市民協働による西海岸・里浜の保全活用 ～時空を超え未来につなぐ、古里の記憶～



1 社会資本の概要

対象社会資本の浦添西海岸地域は、地元住民の生活と自然海浜をつなぐ里浜であり、古来より海の彼方にあるというニライカナイへの祈りの場である地域でした。また、開発が進む沖縄本島中南部にあって、米軍基地・キャンプキンザーに接していることから、人工的な開発を免れ、自然の原風景を残す貴重な自然海浜となっています。令和4年9月には、大学

の調査研究により、新種の生物が確認されるなど、学術的にも、都市部近くにならながら豊かな自然が維持されている海浜として注目されています。近年は、新たに西海岸道路が開通し、地域外の訪問客も多数訪れる観光地、景勝地にもなっており、その保存と利活用の両立の重要性が高まっている海浜です。



カーミージー浜



海没地区・カーミージー橋



サンエーバルコ前浜

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

地元の港川自治会活動として、相互交流と次世代の人材育成に取り組んできました。活動のさらなる展開のため、一般社団法人組織を設立し今日に至っています。自治会会員のみならず、様々な団体のボランティア参加による地域貢献活動を展開するため、各団体・行政との橋渡しをする中間支援団体としての役割を担っています。里浜ビーチクリーン

や小学生を対象とした体験学習を開催するほか、活動から得られた知見を踏まえ、地元浦添市における里浜条例の制定、同ガイドラインの策定に貢献、また、その他様々な行政主催会議の構成員として提言を行うなど行政との連携や、展示会等のイベントで広報活動を通じ、海岸の保全・利活用の在り方を発信しています。



日米合同ビーチクリーン活動



地元小学生向け環境学習



普及啓発イベントでの広報活動

3 活動の成果や波及効果等

年間7回、30～100名程のボランティア参加を得て、ビーチクリーン活動を行っています。また、総合学習の時間で、地元小学校の児童たちを対象に環境学習や体験学習を継続して実施しています。さらに、活動を通じて得られた知見を踏まえて、開催している環境学習セミナーや展示会には、相当数の方のご来場を頂いています。当海岸の保全・利活用への興味・関心の広がりを感じており、これまでの活動の手ごたえを感じているところです。



様々な世代による
ビーチクリーン活動



地域・行政の連携による
座礁クジラの運搬



カヌーの活用による
ごみ運搬・回収方法の実証



海からの手紙・アートで伝える
展示会2021、
参加者メッセージカード

喜びの声



受賞者
一般社団法人
うらそえ里浜・未来ネットワーク
代表理事
田邊 治通

コメント

当法人は、開発を免れ、ふるさとの原風景を残す浦添西海岸地域の保全・利活用をはかり、地域コミュニティのつながりの確保や担い手育成、地域外からの来訪者にも美しい里浜の海岸を愉しんでいただけるよう、様々な活動に取り組んできました。このたび、本賞を頂戴し、夢の実現に向け未来へ続くより魅力的な活動の創造や持続性確保、その先に見える自然の砂浜再生に市民と共に取り組んでいきます。

活動の内容

- ボランティアによるビーチクリーン活動
- 地元の子供たちを対象とした体験学習
- イノー海域でのカヌー体験
- 地域住民向け環境学習セミナー
- イベント会場での広報活動
- 行政主催会議への参画、提言
- 地域連携・ローカルルールづくり(案)の作成

活動の経歴

- 平成17年 地元港川自治会として活動を開始
- 平成31年 一般社団法人うらそえ里浜・未来ネットワーク設立
- 令和元年 めんそーれ沖縄クリーンアップキャンペーン表彰受賞
- 令和2年 沖縄県地域づくり団体表彰受賞

所在地 沖縄県浦添市港川、西洲

活動主体及び連絡先 一般社団法人 うらそえ里浜・未来ネットワーク
TEL:090-1875-8595

対象となる社会資本 浦添西海岸地域
(カーミージー浜～キャンプキンザー海没地区
～サンエーバルコ前浜)



年度別テーマ一覧

年度別テーマ一覧 (Part1～Part37)

Part1 昭和 61年度	人と風土が育てた家並 ふるさとが誇りとする橋 ふれあいの水辺	30選 30選 30選	Part11 平成 8年度	テーマを設定せず	37選	Part21 平成 18年度	地域整備部門 地域活動部門 大賞部門	7選 14選 9選	Part31 平成 28年度	一般部門 大賞部門	20選 2選
Part2 昭和 62年度	いきいさとした楽しい街並み ふれあいの並木道 水辺の風物詩	30選 30選 30選	Part12 平成 9年度	テーマを設定せず	40選	Part22 平成 19年度	地域整備部門 地域活動部門 大賞部門	7選 9選 11選	Part32 平成 29年度	一般部門 大賞部門	16選 3選
Part3 昭和 63年度	小さなふれあいの広場 ふるさとに恵みを与える川 やすらぎとのおいのある歩道	30選 30選 30選	Part13 平成 10年度	テーマを設定せず	38選	Part23 平成 20年度	一般部門 大賞部門	13選 2選	Part33 平成 30年度	一般部門 大賞部門	20選 3選
Part4 平成 元年度	いこいとふれあいの道 生活の中にいきる水辺 歴史をいかした街並み	30選 30選 30選	Part14 平成 11年度	テーマを設定せず	32選	Part24 平成 21年度	一般部門 大賞部門	17選 2選	Part34 令和 元年度	一般部門 大賞部門	20選 4選
Part5 平成 2年度	街灯のある街角 生活を支える自然の水 花と緑の手づくりふるさと ふるさとの坂道	30選 30選 30選 30選	Part15 平成 12年度	テーマを設定せず	30選	Part25 平成 22年度	一般部門 大賞部門	22選 3選	Part35 令和 2年度	一般部門 大賞部門	13選 3選
Part6 平成 3年度	施設部門 素材部門	30選 30選	Part16 平成 13年度	地域整備部門 地域活動部門	20選 9選	Part26 平成 23年度	一般部門 大賞部門	12選 4選	Part36 令和 3年度	一般部門 大賞部門	12選 1選
Part7 平成 4年度	くらしに根づく施設 ふるさとの色と光	30選 30選	Part17 平成 14年度	地域整備部門 地域活動部門	15選 11選	Part27 平成 24年度	一般部門 大賞部門	16選 2選	Part37 令和 4年度	一般部門 大賞部門	16選 1選
Part8 平成 5年度	自然とふれあう水辺づくり 出合いを演出する街角 ふるさとの風景にとけこむ道	30選 30選 30選	Part18 平成 15年度	地域整備部門 地域活動部門	13選 10選	Part28 平成 25年度	一般部門 大賞部門	17選 3選			
Part9 平成 6年度	人々が集い憩う水辺づくり ふるさとの文化を育む街角の広場 ふるさとを紹介する道	30選 30選 30選	Part19 平成 16年度	地域整備部門 地域活動部門	6選 11選	Part29 平成 26年度	一般部門 大賞部門	15選 4選			
Part10 平成 7年度	コミュニティ部門 自然部門 歴史・文化部門	30選 30選 30選	Part20 平成 17年度	地域整備部門 地域活動部門 大賞部門	8選 12選 37選	Part30 平成 27年度	一般部門 (公開審査による選考) 大賞部門	15選 7選			

選定案件一覧

選定案件一覧

昭和61年度

人と風土が育てた家並

都道府県 市区町村 件名

青森県	黒石市	こみせ	★H17大賞
秋田県	仙北市	武家屋敷	★H17大賞
山形県	上山市	楯下宿	★H17大賞
福島県	喜多方市	蔵のまち	
福島県	下郷町	大内宿	★H17大賞
栃木県	栃木市	巴波川沿川家並	★H17大賞
群馬県	甘楽町	小幡城下町の伝統的家並	
新潟県	上越市	高田の雁木	★H17大賞
富山県	高岡市	銅器のまち金屋町通り	★H17大賞
富山県	南砺市	信仰と木彫の里八日町通り	
石川県	金沢市	長町武家屋敷群	
長野県	南木曾町	妻籠宿の家並	★H19大賞
岐阜県	岐阜市	三之町の家並	
岐阜県	恵那市	旧家の家並	
岐阜県	白川村	合掌集落	
愛知県	名古屋市長久寺	有松	
滋賀県	大津市	石積みの町	
滋賀県	東近江市	五箇荘町金堂	★H17大賞
和歌山県	新宮市	別当屋敷町の家並	
鳥取県	倉吉市	土蔵造りの家並	★H17大賞
鳥根県	津和野町	藩政時代の街並	★H17大賞
岡山県	倉敷市	倉敷市の伝統的街並	★H17大賞
広島県	竹原市	竹原市伝統的町並	★H24大賞
徳島県	美馬市	うだつと白壁の町並	★H17大賞
香川県	丸亀市	本島笠島集落家並	
佐賀県	有田町	ドンバイ堀のある裏通り	
長崎県	長崎市	長崎新地中華街	
宮崎県	日向市	美々津の歴史的街並	★H17大賞
鹿児島県	知覧町	武家屋敷通り	
沖縄県	竹富町	竹富町家並	★H17大賞

ふるさとが誇りとする橋

都道府県 市区町村 件名

北海道	上砂川町	野鳥の橋	
北海道	盛岡町	北野橋	
岩手県	鹿角市	御厨橋	
秋田県	横手市	学校橋	
山形県	上山市	新町めがね橋	
山形県	長井市	撞木橋	
福島県	喜多方市	東大橋	
埼玉県	川口市	青木橋	
埼玉県	草加市	辰井川6橋	
東京都	港区	中之橋	
神奈川県	横浜市	夕照橋	
新潟県	新潟市	万代橋	
富山県	射水市	虹の神楽橋	
石川県	金沢市	犀川大橋	
福井県	福井市	新明里橋	
山梨県	大月市	猿橋	
長野県	飯綱町	天の浮橋	
岐阜県	恵那市	大井橋	
静岡県	浜松市	枕瀬橋	
三重県	菟野町	あかね橋	
大阪府	大阪市	錦橋	
奈良県	十津川村	谷瀬橋	
岡山県	岡山市	相生橋	
広島県	広島市	横川橋	
徳島県	三好市	祖谷のかすら橋	
愛媛県	西条市	伊曾の橋	
高知県	安芸市	土居橋	
長崎県	長崎市	長崎中島川石橋群	
熊本県	山都町	通潤橋	
熊本県	津奈木町	あけぼの橋	

ふれあいの水辺

都道府県 市区町村 件名

北海道	札幌市	鴨々川遊び場	
北海道	福島町	新緑公園	
岩手県	一関市	鑿井川	
宮城県	栗原市	迫川	

山形県 山形市 馬見ヶ崎川

茨城県	潮来市	潮来運艇場	
群馬県	前橋市	広瀬川河畔緑地緑道	★H17大賞
群馬県	桐生市	境界水処理センター屋上公園	
千葉県	船橋市	街かど美術館	
東京都	江戸川区	小松川境川親水公園	★H17大賞
神奈川県	小田原市	小八幡川親水護岸	
富山県	小矢部市	花菖蒲の小矢部河川公園	
岐阜県	岐阜市	早田川	
愛知県	名古屋市長久寺	水の小径	
滋賀県	近江八幡市	八幡堀	★H17大賞
滋賀県	高月町	雨森	★H17大賞
京都府	南丹市	大堰川・実天堰	
大阪府	岡山市	古城川緑道	
兵庫県	尼崎市	武庫川六浦水系・ホタルの里づくり	
鳥取県	鳥取市	流しびの水辺	
岡山県	岡山市	三ツ川緑道公園	★H17大賞
広島県	大崎上島町	野賢海岸	
広島県	福山市	堂々公園	
山口県	山口市	佐波川螢の川	
愛媛県	西予市	野村ダム公園	★H18大賞
高知県	土佐町	早明湖ふれあい広場	
福岡県	北九州市	槻田せせらぎ広場	
佐賀県	佐賀市	多布施川水遊び場	
宮崎県	竹田市	中島河川プール	
	小林市	本庄河川プール	

昭和62年度

いきいきとした楽しい街並み

都道府県 市区町村 件名

青森県	田子町	サンモールたっこ	
宮城県	仙台市	一番街ショッピングモール	
秋田県	秋田市	秋田駅前買物広場	
山形県	酒田市	酒田市ショッピングモール	
福島県	会津若松市	大町通り	
茨城県	日立市	日立銀座ショッピングモール	
茨城県	土浦市	川口ショッピングモール	
埼玉県	川口市	ジョショッピングモールふじの市通り	
千葉県	香取市	小野川周辺の町並	★H17大賞
東京都	中央区	鳥喰町商店街	
東京都	中央区	東和銀座商店街	
神奈川県	横浜市	イセザキモール	
新潟県	十日町市	雪まつりと流雪満のまち	
富山県	高岡市	あけあいの滝通り	
富山県	南砺市	合掌家屋と民謡こきりこの里	
山梨県	甲府市	かすがもーる	
長野県	佐久市	中込グリーンモール	
岐阜県	岐阜市	美殿町通り	
岐阜県	可児市	桜ヶ丘ハイツの街並みと家並み	
京都府	京都市	三条通り歴史的あいあい景観地区	
大阪府	岸和田市	岸和田駅前通り	
兵庫県	神戸市	北野町山本通	★H17大賞
和歌山県	高野町	高野町内街路	
岡山県	高梁市	ふれあい広場と美観地区	
徳島県	徳島市	紺屋町シンボルロード	
福岡県	福岡市	大橋駅前通り	
佐賀県	有田町	陶磁の香りのする駅前通り	
大分県	日田市	日田の街並	
宮崎県	日南市	本町商人通りの街並	★H25大賞
沖縄県	沖縄市	中央パークアベニュー	

ふれあいの並木道

都道府県 市区町村 件名

北海道	釧路市	出世坂	
岩手県	北上市	展勝地公園	
宮城県	仙台市	仙台市ケヤキ並木	
山形県	高島町	まほろばの緑道	
茨城県	日立市	けやき通りと歩道	
栃木県	さくら市	桜並木線	
群馬県	前橋市	ふるさとのケヤキ並木	
埼玉県	前橋市	ふりさつ公園	
埼玉県	草加市	草加松原遊歩道	

東京都 世田谷区 けやき広場

神奈川県	横浜市	大岡川プロムナード	
神奈川県	川崎市	市役所通りモール	
富山県	富山市	松川べり	
石川県	金沢市	中央公園通り	
岐阜県	中津川市	四ツ目川の桜並木	
岐阜県	恵那市	岩村城登城坂	
静岡県	浜松市	二俣川「水辺の桜並木」	
三重県	津市	三多気の桜	
大阪府	大阪市	みおつくしプロムナード	
兵庫県	神戸市	税関線シンボルロード	
兵庫県	宝塚市	花のみち	
奈良県	橿原市	橿原神宮公苑緑の並木道	
岡山県	岡山市	鳥城みち	
広島県	呉市	美術館通り	
広島県	竹原市	あいひる316	
山口県	光市	なざさへの道	
高知県	土佐清水市	足留神橋の散歩道	
福岡県	北九州市	出あい坂	
長崎県	島原市	白土湖畔緑道	
沖縄県	久米島町	フクギ並木と道路	

水辺の風物詩

都道府県 市区町村 件名

北海道	旭川市	せせらぎ小路	
岩手県	盛岡市	御所湖広域公園	★H18大賞
秋田県	大仙市	雄物川河川緑地	
栃木県	下野市	大松山運動公園	
新潟県	さいたま市	千貫橋水郷公園	
千葉県	千葉市	稲毛海浜公園	
新潟県	新潟市	早川堀のイメージ復元	
富山県	黒部市	黒部川扇状地の湧水群	
石川県	金沢市	浅野川～加賀友禅灯ろう流し	
福井県	大野市	お清水	
長野県	上田市	長池公園のせせらぎ広場	
静岡県	浜松市	森の水車	
愛知県	名古屋市長久寺	宮の渡し公園	
愛知県	名古屋市長久寺	庄内用水緑道	
滋賀県	愛荘町	新愛知川フラワープロムナード	
大阪府	大阪市	河川（今川）「せせらぎの復活」	
和歌山県	白浜町	白良浜	
鳥取県	湯梨浜町	東瀬湖	
島根県	松江市	北松江の宍道海岸	
広島県	廿日市市	紅葉谷川庭園砂防	★H17大賞
広島県	安芸高田市	土師が「ムジ」ラウド	★H18大賞
山口県	山口市	一の坂（ホテル護岸）	★H17大賞
山口県	周南市	東川緑地公園	
香川県	丸亀市	土器川河川敷広場	
愛媛県	大洲市	脇川の鑑館	
高知県	高知市	鏡川みどりの広場	
福岡県	朝倉市	朝倉の三連水車	
熊本県	宇土市	轟水源	
大分県	別府市	境川の水辺	
鹿児島県	加治木町	網掛川	

昭和63年度

小さなふれあい広場

都道府県 市区町村 件名

岩手県	奥州市	蔵のあるポケットパーク	
宮城県	加美町	さわくら公園	
山形県	鶴岡市	やすらぎ広場	
茨城県	古河市	古河市庁舎広場	
群馬県	館林市	富士原恩の森	
埼玉県	川口市	辰井公園	
埼玉県	草加市	おせん茶屋	
埼玉県	さいたま市	うらわセントラルガーデン	
東京都	港区	パテオ十番おまつり広場	
東京都	荒川区	日暮里南公園噴水広場	
神奈川県	横浜市	金沢埋立水際緑地	
新潟県	十日町市	あじさい公園	
長野県	高架下公園	藤どおり	
岐阜県	岐阜市	西野町コミュニティ水路	

岐阜県 岐阜市 市制50周年記念公園・中橋公園

滋賀県	甲賀市	みよで公園	
大阪府	大阪市	御津公園（タウンスクウェア）整備	
兵庫県	神戸市	揖津本山駅前南広場	
鳥取県	鳥取市	鳥取駅前モニュメント広場	
岡山県	鏡野町	鏡野万葉のみちシンボル広場	
広島県	福山市	春日池公園	
防府市	防府市	西佐波緑地	
香川県	高松市	北部コミュニティ広場	
愛媛県	今治市	片原緑地	
愛媛県	大洲市	丸山公園	
福岡県	福岡市	水上公園	
長崎県	長崎市	丸山公園	
鳥取県	鳥取市	浜の川共同洗い場	
大分県	中津市	耶麻呂ダム記念公園	
沖縄県	浦添市	屋祖保バケットパーク	

ふるさとに恵みを与える川

都道府県 市区町村 件名

岩手県	盛岡市	山岸せせらぎ水路	
岩手県	宮古市	津軽石川堤防	
岩手県	花巻市	田瀬湖ふるさと湖畔	
宮城県	加美町	鳴瀬川中新田緑地	
秋田県	横手市	横手市の流雪溝	
茨城県	大子町	久慈川親水護岸	
東京都	大田区	旧六郷用水の文化遺産保存事業	
神奈川県	横浜市	和泉川親水広場	
神奈川県	川崎市	二ヶ領用水（宿河原線）	★H17大賞
新潟県	加茂市	加茂川修景	
富山県	南砺市	七福の森・向川砂防堰堤	
福井県	若狹町	浦見川	
福井県	身延町	下部パーサイドパーク	
山梨県	甲斐市	信玄堤	★H19大賞
山梨県	南アルプス市	滝沢川公園	
山梨県	中川村	理兵衛堤防	
岐阜県	飛騨市	瀬戸川	
滋賀県	安土町	鏡の浜	
兵庫県	神戸市	住吉川清流	
兵庫県	姫路市	漣河公園	
和歌山県	紀の川市	せせらぎ水路	
岡山県	総社市	砂川公園	
広島県	広島市	古川せせらぎ河川公園	
山口県	下関市	壺見川	
山口県	萩市	藍場川	
徳島県	阿南市	万代堤	
長崎県	まんのう町	満濃池	
高知県	四万十市	渡川第二緑地	
高知県	香美市	物部川緑地公園	
佐賀県	有田町	自然とのふれあい空間	

やすらぎとうるおいのある歩道

都道府県 市区町村 件名

北海道	旭川市	七条緑道イルミネーション	
青森県	青森市	遊歩道緑地・平和公園	
秋田県	秋田市	山王散歩道	
福島県	福島市	市道中町御山町線コミュニティ道路	
栃木県	日光市	くらがね橋歩道	
群馬県	大泉町	いずみ緑道	
埼玉県	八潮市	松の木どくろり遊歩道	
千葉県	市川市	桜並木の散策路	
東京都	港区	ふれあいの道（竹芝楼橋～増上寺）	
東京都	町田市	尾根緑道	
神奈川県	横浜市	磯子アベニュー	
神奈川県	藤沢市	引地川（川べり遊歩道）	
神奈川県	相模原市	横浜水道道緑道	
石川県	金沢市	香林坊地下道	
静岡県	沼津市	蛇松緑道	
愛知県	名古屋市長久寺	中村参道緑道	
三重県	鈴鹿市	四季の道	
滋賀県	甲賀市	炎の美通り	
大阪府	豊中市	堂舞い飛ぶ自然の親水緑道	
兵庫県	神戸市	酒蔵の道	
奈良県	奈良市	奈良三条通り	
鳥取県	鳥取市	旧袋川通り左岸線彫刻の道	

島根県 松江市 浜乃木ふれあいモール

広島県	広島市	藤柳の道	
広島県	呉市	蔵本通り	
山口県	光市	水鳥の道	
愛媛県	松山市	遊歩道熟田津の道	
福岡県	北九州市	三萩野やすらぎ通り	
宮崎県	宮崎市	後田川緑道	★H19大賞
鹿児島県	鹿耳町	清流満と池	

平成元年度

いこいとふれあいの道

都道府県 市区町村 件名

北海道	下川町	万里の長城遊歩道	
北海道	洞爺湖町	湖畔通り	★H17大賞
秋田県	秋田市	中土橋通り	
山形県	尾花沢市	「歴史の道」	
福島県	福島市	都市計画道路路野田線	
埼玉県	さいたま市	ショッピングモールさくら草通り	
千葉県	鴨川市	海浜プロムナード（鴨川潮さい公園）	
東京都	足立区	北千住サンロード	
東京都	国分寺市	お鷹の道遊歩道	★H17大賞
新潟県	新潟市	西海岸公園の散策路	
新潟県	長岡市	駅東歩行者専用道（長岡シンボルロード）	
石川県	白山市	歴史を刻み今に残すふれあいのみち	
石川県	七尾市	万葉の里コミュニティ道路	
山梨県	早川町	やすらぎの参道	
岐阜県	中津川市	中津川遊歩道公園	
愛知県	名古屋市長久寺	ジョギングロード	
京都府	福知山市	三段池公園	
大阪府	大阪市	学園ロード整備事業	
大阪府	高槻市	阿武野緑道	
兵庫県	姫路市	城西4号線	
兵庫県	西宮市	市役所前線	
兵庫県	瀬戸市	彫刻の道	
兵庫県	播磨町	緑道あいのみち	
広島県	広島市	並木通り	★H19大賞
山口県	萩市	しる魚の道	
愛媛県	今治市	県木の森ふれあい散策路	
高知県	高知市	長浜654号線	
佐賀県	有田町	有田文様の道	
長崎県	佐世市	佐世保川岸線プロムナード・ギャラリー	
熊本県	熊本市	長瀬通り	

生活の中いきる水辺

都道府県 市区町村 件名

茨城県	日立市	鮎川ロマンチックライン	
群馬県	日夫町	清流神流川	
埼玉県	川口市	芝川、水とみどりの遊歩道	
埼玉県	草加市	西町緑道水路	
埼玉県	蕨市	要害通りせせらぎ遊歩道	
東京都	世田谷区	兵庫島河川公園	
神奈川県	横浜市	三ッ沢せせらぎ緑道	
神奈川県	相模原市	花と芝生の広場	
神奈川県	秦野市	水無川緑地	★H17大賞
新潟県	新潟市	じゅんさい池公園ホテルの里	

生活を支える自然の水

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists water-related projects across various prefectures like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc.

花と緑の手づくりふるさと

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to flowers and green spaces across various prefectures.

ふるさとの坂道

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to local roads and paths across various prefectures.

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to rivers and waterways across various prefectures.

平成3年度

施設部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists facility-related projects across various prefectures.

素材部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to local materials across various prefectures.

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to rivers and waterways across various prefectures.

平成4年度

暮らしに根づく施設

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists facility-related projects across various prefectures.

ふるさとの色と光

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to local colors and light across various prefectures.

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to rivers and waterways across various prefectures.

平成5年度

自然とふれあう水辺づくり

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to waterfront development across various prefectures.

出会いを演出する街角

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to street corners and community across various prefectures.

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to rivers and waterways across various prefectures.

平成6年度

人々が集い憩う水辺づくり

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to waterfront development across various prefectures.

ふるさとの文化を育む街角の広場

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to street corners and community across various prefectures.

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to rivers and waterways across various prefectures.

ふるさとの風景にとけこむ道

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to waterfront development across various prefectures.

ふるさとを紹介する道

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to street corners and community across various prefectures.

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to rivers and waterways across various prefectures.

ふるさとの文化を育む街角の広場

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to street corners and community across various prefectures.

平成7年度

コミュニティ部門 都道府県 市区町村 件名

平成8年度

都道府県 市区町村 件名

平成9年度

都道府県 市区町村 件名

平成10年度

都道府県 市区町村 件名

平成11年度

都道府県 市区町村 件名

都道府県 市区町村 件名

平成12年度

都道府県 市区町村 件名

平成13年度

都道府県 市区町村 件名

平成14年度

都道府県 市区町村 件名

平成15年度

都道府県 市区町村 件名

平成16年度

都道府県 市区町村 件名

平成17年度

都道府県 市区町村 件名

平成18年度

都道府県 市区町村 件名

平成19年度

都道府県 市区町村 件名

都道府県 市区町村 件名

平成20年度

都道府県 市区町村 件名

平成21年度

都道府県 市区町村 件名

平成22年度

都道府県 市区町村 件名

平成23年度

都道府県 市区町村 件名

都道府県 市区町村 件名

平成24年度

都道府県 市区町村 件名

平成25年度

都道府県 市区町村 件名

平成26年度

都道府県 市区町村 件名

平成27年度

都道府県 市区町村 件名

都道府県 市区町村 件名

平成28年度

都道府県 市区町村 件名

平成29年度

都道府県 市区町村 件名

平成30年度

都道府県 市区町村 件名

平成31年度

都道府県 市区町村 件名

地域活動部門

都道府県 市区町村 件名

地域整備部門

都道府県 市区町村 件名

地域活動部門

都道府県 市区町村 件名

地域整備部門

都道府県 市区町村 件名

地域活動部門

都道府県 市区町村 件名

岡山県 岡山市 表町おかみさん会による中心市街地活性化の取り組み

平成 17 年度

地域整備部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 旭川市 旭川市旭山動物園

地域活動部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 二セコ町 二セコ花フェスタ綺羅街道

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 洞爺湖町 湖畔通り

山口県 山口市 一の坂川ホテル護岸うだつと白壁の町並

平成 18 年度

地域整備部門

都道府県 市区町村 件名
秋田県 小坂町 明治百年通り

地域活動部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 函館市 市民創作「函館野外劇」

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 沼田町 ほとるの里

平成 19 年度

地域整備部門

都道府県 市区町村 件名
福島県 桑折町 奥州街道・羽州街道追分

地域活動部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 室蘭市 文化も発信できる港まちづくり

兵庫県 赤穂市 あこう絵マップコンクール

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 利根別川千本桜並木道

平成 20 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 足寄町 あなたの足跡残します

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
新潟県 長岡市 表町の小さな試み

平成 21 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 旭川市 世代と世代をつなぐ架け橋「旭橋」

東京都 港区 花と1万人の会「よっちゃと素顔なまちづくり」

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
東京都 下妻市 花と1万人の会「よっちゃと素顔なまちづくり」

平成 22 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 北広島市 支えあいの地域づくり

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
愛知県 犬山市 犬山城下町地区のまちづくり

平成 23 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 旭川市 表町のかきこしと活用

大分県 中津市 山国川発中津干滝 水でつながる自然と文化と私たち

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
静岡県 三島市 ガーデンシティみしまプロジェクト

平成 24 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 上士幌町 旧国鉄土幌線の文化遺産を活用したまちづくり

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
茨城県 日立市 人と自然が共存したピクトープ赤羽緑地

平成 25 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 旭川市 美瑛川と川づくり-未来を担う子供達に誇れる「ふるさと」をつくる

島根県 江津市 石州赤瓦と歴史を活かしたまちづくり

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
新潟県 村上市 黒塚プロジェクト（黒塚一枚1000円運動と緑ー口1000円運動）

平成 26 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 江差町 再現！江差の五月は江戸にもない

大賞部門

都道府県 市区町村 件名
高知県 四万十市 奥平川河川群の竹林の保全をエコツアーにした取り組み

平成 27 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名
北海道 美幌町 皆でつくる！手作り魚道

茨城県 筑西市 鬼怒川の荒れた河川敷をお花畑に！交流の場に！～お花畑から広がるつながりの輪～

東京都 小平市 花と緑と笑顔にあふれる街づくり～こいだいらグリーンロード～

石川県 七尾市 和倉温泉まちなか賑わい再生と景観づくり

岐阜県 都上市 清流長良川漁場の再生への取り組み

滋賀県 東近江市 東近江市尻無町「水源の森」～いにしへの「長谷廻り抜き」を後世に～

京都府 長岡京市 商店街から発信する住民主体のシティプロモーションモデル

福井県 大野市 桜が教えてくれたカタクリで地域づくり

鳥取県 琴浦町 囀り石の浜を舞台にしたまちの活性化プロジェクト

山口県 下関市 協働による花と歴史と安らぎの郷づくり

佐賀県 鹿島市 酒蔵とともに歩むまちづくり

長崎県 西海市 道路美化活動から始まった地域おこし～廃校グラウンドが環境農園に生まれ変わった！～

大賞部門 都道府県 市区町村 件名

北海道 滝川市 “空の波打ち際”の創造～大空に一番近いまちづくり～

東京都 江戸川区 葛西親水四季の道

新潟県 十日町市 大地の芸術祭越後妻有アートエンナーレ

静岡県 静岡市 清水港・みなと色彩計画

京都府 向日市 竹の径・かぐやのタベ

福岡県 福岡市 エコシティ福岡をめざして「水と緑とまちづくり」

宮城県 延岡市 ふるさとへの思い思いが奇跡の堤防を産んだ

沖繩県 那覇市 国場川こいのぼりまつり～少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを～そんな街に住みたい！～

大賞部門 都道府県 市区町村 件名

都道府県 市区町村 件名

北海道 稚内市 古き良きものを守る～国境の街 稚内の歴史的建造物の保存とまちづくり～

岩手県 一関市 「青寺村荘園遺跡」等の保全と地域の活性化を目指す活動

宮城県 石巻市 石巻南浜津波復興祈念公園における市民の伝承活動

茨城県 古河市 渡良瀬遊水地の未来に向けて

栃木県 栃木市 100年の景観づくり「枝垂れ桜の咲く里への回廊」

群馬県 松山市 100年の景観づくり「枝垂れ桜の咲く里への回廊」

埼玉県 加須市 うしづみ水辺の楽校 子供達のたくさんの笑顔、オグシズの魅力アップを目指すかのがわ風のテラス

静岡県 静岡市 須磨ニュータウン周辺の森を整備し、癒しの森（場）づくり

兵庫県 赤穂市 坂越浦の礎を築いた北前船廻船物語

広島県 三次市 住民自治で創る川西のまちづくり～1200人を支え、100人が働き、170人が関わり、30万人が訪れる郷～

愛媛県 松山市 重信川河口域の湿地環境保全

福岡県 田川市 水辺空間を活かしたまちづくり～番田河原の利活用と地域の連携～

熊本県 錦町 球磨川のほとりに咲くツクシイバラ～100年後の人々に届けたい～

大分県 津久見市 河津桜に夢をのせて～浦々をつなぐピンクの襷～

山形県 西川町 月山志津温泉雪旅籠の灯り～雪は室～

千葉県 市原市 養老校とアートの小径プロジェクト（文化と芸術の里づくり）

福島県 会津若松市 会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ

喜多市 会津坂下町 会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ

海川村 会津美里町 レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」～自転車とレールで風になる～

岐阜県 飛騨市 美濃市 福知山市 「雲原砂防イベント」（よみがえれ地域の力「探訪 雲原砂防」）

京都府 長岡京市 京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり

島根県 出雲市 子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり

雲南市 奥出雲町 宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり

飯南町 玉野市 宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり～UNIOCHI 海が見える港のマルシェ～

徳島県 三好市 地域の駅から世界の大歩危駅へ

大分県 日田市 上下流の人々をつなぐ筑後川源流の保全活動

大分県 豊後高田市 花とアートの峠「香々地」～長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～

宮崎県 宮崎市 大塚台団地の里山再生～「荒れ果てた都市部の里山再生～川坂湿原を生かした地域おこし～霞堤とともに歩む～

宮崎県 延岡市 旧吉松家住宅を中心とした大正ロマンのまちづくり～レトロ路面電車でまちをつなぐ～

大賞部門 都道府県 市区町村 件名

北海道 小樽市 小樽雪あかりの路

三重県 伊勢市 伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり

山口県 岩国市 帯広まちなか歩行者天国

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

福山県 福山市 帯広まちなか歩行者天国～市民がつくり、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～

香川県 宇多津町 人との繋がりを広め、古街の再生を～うたづの町家とおひなさん～

福岡県 八女市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

長崎県 諫早市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

熊本県 熊本市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

熊本県 熊本市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

熊本県 阿蘇市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

大分県 中津市 道の駅を核とした地域振興～道の駅の役割と住民とのネットワーク構築～

宮崎県 西都市 山国川奇譚～鶴市花傘鉾神事保存・伝承事業～

沖縄県 国頭村 記紀の道～地域の宝をつなぎ心を育む～

大賞部門 都道府県 市区町村 件名

福山県 会津若松市 通りの地域資源を活かした「大正浪漫調」のまちづくり

長野県 長野市 城下町松代に学び、城下町松代を育む

三重県 伊勢市 『船参宮の再興が過疎地域を担う』

山口県 山口市 もり・かわ・うみを育むふるさとの流域づくり

大賞部門 都道府県 市区町村 件名

北海道 奈井江町 大河石狩川に並ぶ、日本一の直線国道

岩手県 盛岡市 盛岡市鉈屋町界隈～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～

秋田県 大仙市 河港のまち角間川リネサンス

東京都 江戸川区 地域と共に 桜と水辺の散策路～篠田堀 親水緑道～

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

宮崎県 都城市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

大阪府 柏原市 放置された森と森林資源を活用して「里山の森づくり」

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

徳島県 阿南市 暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化

手づくり郷土賞

手づくり郷土賞



手づくり郷土賞
ホームページ



手づくり郷土賞
Face book

お問い合わせ先

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1番3号
国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課
TEL 03-5253-8111(代表)